

天理市立柳本小学校

特別教室空調機設備設置工事 竣工図

図面リスト							
番号	図面名称		番号	図面名称		番号	図面名称
	(共通)			(電気設備)			(機械設備)
A-00	表紙・図面リスト		E-01	電気設備工事特記仕様書 1	—	M-01	機械設備工事特記仕様書 1
			E-02	電気設備工事特記仕様書 2	—	M-02	機械設備工事特記仕様書 2
	(建築)	—	E-03	電気設備工事特記仕様書 3	—	M-03	機械設備工事特記仕様書 3
A-01	特記仕様書 1	—	E-04	動力盤結線図	—	M-04	機械設備工事特記仕様書 4
A-02	特記仕様書 2	—	E-05	電気設備 1 階平面図	1/200	M-05	機械設備 配置図、機器リスト
A-03	特記仕様書 3	—	E-06	電気設備 2 階平面図	1/200	M-06	1 2 棟 空気調和設備 4 階平面図・立面図
A-04	特記仕様書 4	—	E-07	電気設備 3 階平面図	1/200	M-07	1 8 棟 空気調和設備 1 階平面図・立面図
A-05	特記仕様書 5	—	E-08	電気設備 4 階平面図	1/200	M-08	1 8 棟 空気調和設備 2 階平面図
A-06	特記仕様書 6	—				M-09	1 8 棟 空気調和設備 3 階平面図
A-07	配置図（仮設計画図）	1/500				M-10	空気調和設備 部分詳細図
A-08	1 2 棟 4 階平面図・3, 4 階天井伏図	1/100					
A-09	1 8 棟 2 階平面図・天井伏図	1/100					
A-10	1 8 棟 3 階平面図・天井伏図	1/100					

天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図 面 名 称	縮 尺	奈良文庫電気設備株式会社	図 番
	2024-11	表紙・図面リスト			A-00

天理市立柳本小学校 特別教室空調機設備 設置工事 特記仕様書		⑫ 発生材の処理等		⑮ 設備工事との取合い		施工範囲		4 監督職員事務所の 備品等		仕上の程度	
I. 工事概要		⑬ 環境への配慮		⑯ 建築材料等		施工図		23 県産材木材の利用		監督員事務所の備品等の種類及び数量は以下の表による [2.4.1]	
1. 工事場所 奈良県天理市柳本町1 2 1 3 番地 地内		2. 建物概要 R C造4階建て 延べ床面積 1㎡		3. 工事項目 空調機設置に伴う建築工事		24 特別な材料の工法		24 特別な材料の工法		25 設計G L	
II. 建築改修工事仕様		26 六面クロム 溶出試験等		26 設計G L		26 六面クロム 溶出試験等		27 建設発生土の処理		3 防水改修工事	
1. 共通仕様		⑭ 石積含有建材の 事前調査		15 施工調査		16 技能士		17 化学物質の濃度測定		18 技術検査	
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「改修標準仕様書」という。）による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）・同解令和5年版」（以下「解体共通仕様書」という。）による。		1. 共通仕様		(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○・〇印の付いたものを適用する。 ○・〇印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○・〇印と※・〇印の付いた場合は、共に適用する。		(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○・〇印の付いたものを適用する。 ○・〇印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○・〇印と※・〇印の付いた場合は、共に適用する。		(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○・〇印の付いたものを適用する。 ○・〇印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○・〇印と※・〇印の付いた場合は、共に適用する。		(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○・〇印の付いたものを適用する。 ○・〇印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○・〇印と※・〇印の付いた場合は、共に適用する。	
(2) 全ての設計図書は、相互に補完する。設計図書間に相違がある場合の適用の優先順位は、 1 質問回答書（2から5までに対するもの）、2 現場説明書、3 特記仕様書、4 図面、5 改修標準仕様書とし、これにより難い場合は、（3）による。"n		(2) 全ての設計図書は、相互に補完する。設計図書間に相違がある場合の適用の優先順位は、 1 質問回答書（2から5までに対するもの）、2 現場説明書、3 特記仕様書、4 図面、5 改修標準仕様書とし、これにより難い場合は、（3）による。"n		(2) 全ての設計図書は、相互に補完する。設計図書間に相違がある場合の適用の優先順位は、 1 質問回答書（2から5までに対するもの）、2 現場説明書、3 特記仕様書、4 図面、5 改修標準仕様書とし、これにより難い場合は、（3）による。"n		(2) 全ての設計図書は、相互に補完する。設計図書間に相違がある場合の適用の優先順位は、 1 質問回答書（2から5までに対するもの）、2 現場説明書、3 特記仕様書、4 図面、5 改修標準仕様書とし、これにより難い場合は、（3）による。"n		(2) 全ての設計図書は、相互に補完する。設計図書間に相違がある場合の適用の優先順位は、 1 質問回答書（2から5までに対するもの）、2 現場説明書、3 特記仕様書、4 図面、5 改修標準仕様書とし、これにより難い場合は、（3）による。"n		(2) 全ての設計図書は、相互に補完する。設計図書間に相違がある場合の適用の優先順位は、 1 質問回答書（2から5までに対するもの）、2 現場説明書、3 特記仕様書、4 図面、5 改修標準仕様書とし、これにより難い場合は、（3）による。"n	
(3) 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の崩り、取合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員と協議する		(3) 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の崩り、取合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員と協議する		(3) 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の崩り、取合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員と協議する		(3) 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の崩り、取合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員と協議する		(3) 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の崩り、取合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員と協議する		(3) 設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の崩り、取合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは不都合が生じた場合は、監督職員と協議する	
2. 特記仕様		2. 特記仕様		2. 特記仕様		2. 特記仕様		2. 特記仕様		2. 特記仕様	
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○・〇印の付いたものを適用する。 ○・〇印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○・〇印と※・〇印の付いた場合は、共に適用する。		(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○・〇印の付いたものを適用する。 ○・〇印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○・〇印と※・〇印の付いた場合は、共に適用する。		(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○・〇印の付いたものを適用する。 ○・〇印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○・〇印と※・〇印の付いた場合は、共に適用する。		(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○・〇印の付いたものを適用する。 ○・〇印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○・〇印と※・〇印の付いた場合は、共に適用する。		(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○・〇印の付いたものを適用する。 ○・〇印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○・〇印と※・〇印の付いた場合は、共に適用する。		(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、○・〇印の付いたものを適用する。 ○・〇印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○・〇印と※・〇印の付いた場合は、共に適用する。	
(3) 特記事項に記載の【 】内表示記号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 () 内表示記号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 【 】内表示記号は解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。		(3) 特記事項に記載の【 】内表示記号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 () 内表示記号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 【 】内表示記号は解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。		(3) 特記事項に記載の【 】内表示記号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 () 内表示記号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 【 】内表示記号は解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。		(3) 特記事項に記載の【 】内表示記号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 () 内表示記号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 【 】内表示記号は解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。		(3) 特記事項に記載の【 】内表示記号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 () 内表示記号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 【 】内表示記号は解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。		(3) 特記事項に記載の【 】内表示記号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 () 内表示記号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 【 】内表示記号は解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
章 項 目 特 記 事 項		章 項 目 特 記 事 項		章 項 目 特 記 事 項		章 項 目 特 記 事 項		章 項 目 特 記 事 項		章 項 目 特 記 事 項	
1 各章共通事項		1 各章共通事項		1 各章共通事項		1 各章共通事項		1 各章共通事項		1 各章共通事項	
① 適用基準等		① 適用基準等		① 適用基準等		① 適用基準等		① 適用基準等		① 適用基準等	
② 官公署その他への 届出手続等		② 官公署その他への 届出手続等		② 官公署その他への 届出手続等		② 官公署その他への 届出手続等		② 官公署その他への 届出手続等		② 官公署その他への 届出手続等	
③ 工事実績情報・ビス (CORINS)への登録		③ 工事実績情報・ビス (CORINS)への登録		③ 工事実績情報・ビス (CORINS)への登録		③ 工事実績情報・ビス (CORINS)への登録		③ 工事実績情報・ビス (CORINS)への登録		③ 工事実績情報・ビス (CORINS)への登録	
④ 情報通信の技術の利用"2"※書面により行う（精完時に電子メール等を活用できる）。		④ 情報通信の技術の利用"2"※書面により行う（精完時に電子メール等を活用できる）。		④ 情報通信の技術の利用"2"※書面により行う（精完時に電子メール等を活用できる）。		④ 情報通信の技術の利用"2"※書面により行う（精完時に電子メール等を活用できる）。		④ 情報通信の技術の利用"2"※書面により行う（精完時に電子メール等を活用できる）。		④ 情報通信の技術の利用"2"※書面により行う（精完時に電子メール等を活用できる）。	
⑤ 実施工程表		⑤ 実施工程表		⑤ 実施工程表		⑤ 実施工程表		⑤ 実施工程表		⑤ 実施工程表	
⑥ 施工計画書		⑥ 施工計画書		⑥ 施工計画書		⑥ 施工計画書		⑥ 施工計画書		⑥ 施工計画書	
⑦ 工事の記録等		⑦ 工事の記録等		⑦ 工事の記録等		⑦ 工事の記録等		⑦ 工事の記録等		⑦ 工事の記録等	
8 電気保安技術者		8 電気保安技術者		8 電気保安技術者		8 電気保安技術者		8 電気保安技術者		8 電気保安技術者	
⑨ 施工条件		⑨ 施工条件		⑨ 施工条件		⑨ 施工条件		⑨ 施工条件		⑨ 施工条件	
⑩ 施工中の安全確保		⑩ 施工中の安全確保		⑩ 施工中の安全確保		⑩ 施工中の安全確保		⑩ 施工中の安全確保		⑩ 施工中の安全確保	
⑪ 災害発生時の 安全確保		⑪ 災害発生時の 安全確保		⑪ 災害発生時の 安全確保		⑪ 災害発生時の 安全確保		⑪ 災害発生時の 安全確保		⑪ 災害発生時の 安全確保	
天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事		天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事		天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事		天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事		天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事		天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	
2024-11		2024-11		2024-11		2024-11		2024-11		2024-11	
特記仕様書 1		特記仕様書 1		特記仕様書 1		特記仕様書 1		特記仕様書 1		特記仕様書 1	
奈良文庫電気設備株式会社		奈良文庫電気設備株式会社		奈良文庫電気設備株式会社		奈良文庫電気設備株式会社		奈良文庫電気設備株式会社		奈良文庫電気設備株式会社	
A-01		A-01		A-01		A-01		A-01		A-01	

天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図 面 名 称	縮 尺	奈良文庫電気設備株式会社	図 番
	2024-11	特記仕様書 2			A-02

章	外壁改修工事	特記事項		4	タイル張りの工法	[4. 4. 8] [表4. 4. 5]		5	既層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材	[4. 2. 2] [表4. 5. 2]		6	耐震軽量建具	[5. 4. 4] [表5. 4. 1]		7	耐震軽量建具	[5. 4. 4] [表5. 4. 1]		8	耐震軽量建具	[5. 4. 4] [表5. 4. 1]		9	ステンレス製建具	[5. 4. 2] [表5. 4. 1]		10	木製建具	[5. 7. 2] [表5. 7. 2]		11	建具用金物	[5. 8. 2] [表5. 8. 1]		12	自動ドア開閉装置	[5. 9. 2] [表5. 9. 3]		13	自閉式上吊り引戸装置	[5. 10. 3] [表5. 10. 1]		14	重量シャッター	[5. 11. 3] [表5. 11. 2]		15	軽量シャッター	[5. 12. 2] [表5. 12. 1]		16	オーバーヘッドドア	[5. 13. 2] [表5. 13. 3]		17	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		18	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		19	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		20	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		21	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		22	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		23	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		24	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		25	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		26	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		27	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		28	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		29	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		30	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		31	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		32	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		33	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		34	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		35	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		36	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		37	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		38	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		39	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		40	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		41	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		42	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		43	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		44	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		45	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		46	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		47	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		48	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		49	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		50	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		51	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		52	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		53	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		54	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		55	ガラス	[5. 14. 2] [表5. 14. 2]		
---	--------	------	--	---	----------	----------------------	--	---	----------------------	----------------------	--	---	--------	----------------------	--	---	--------	----------------------	--	---	--------	----------------------	--	---	----------	----------------------	--	----	------	----------------------	--	----	-------	----------------------	--	----	----------	----------------------	--	----	------------	------------------------	--	----	---------	------------------------	--	----	---------	------------------------	--	----	-----------	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	----	-----	------------------------	--	--

天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図 面 名 称	縮 尺	奈良文庫電気設備株式会社	図 番
	2024-11	特記仕様書 3			A-03

[illegible]

天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図 面 名 称	縮 尺	奈良文庫電気設備株式会社	図 番
	2024-11	特記仕様書 4			A-04

6 内装改修工事	項目	特記事項	20 畳敷き	畳の種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K ・KT-N) 街琴線と型畳 ・適用する (畳表の種類 ・C1 ・C2)	24 タイル張り	タイルの種類 [6.16.3] 施工箇所 仕様 施工時期 施工場所 材料 工法 品質の程度 (品質の程度は参考商品名である) 試験張り ・行う 見本焼き ・行う 既調合モルタル ・適用する () [6.16.3] 伸縮調整目地 ・ 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理 ・ 壁タイル張り [6.16.3][表6.16.4] 工法 ・密着張り ・改良圧着張り ・マスク張り ・モザイクタイル貼り 塗厚 ・ 改修後の床の清掃範囲 ※床、壁、天井範囲とし、詳細は監督職員との協議による。	6 合成樹脂調合ペイント(SOP)	木部の合成樹脂調合ペイント塗り [7.5.3][表7.5.1] 新規の場合 (多孔隙広葉樹を除く) 屋外 ※A種 ・B種 ・C種 屋内 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 ・A種 ※B種 ・C種 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 [7.5.4][表7.5.2] ・A種 ※B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 [7.5.5][表7.5.3] 新規の場合 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 鋼製建具の場合 ※A種 ・B種 ・C種 その他 ・A種 ※B種 ・C種			
	・特殊機能床材 [6.8.2]	種類 厚さ(mm) 寸法(mm) 性能 ・帯電防止床シート ・2.0 ・ ・ ・帯電防止量< >0以下 ・帯電防止床タイル ・ ・ ・ ・帯電防止量< >0以下 ・視覚障害者用床タイル ― ― 形状・ ・難燃耐衝撃性床シート ― ― ・防滑性床シート ― ・防滑性床タイル	材質の種類 厚さ(mm) 高さ(mm) ・軟質 ・硬質 ※1.5以上 ・ ※60	・ゴム床タイル [6.8.2] 色柄 種類 厚さ(mm) 寸法(mm)	接着剤 [6.8.2] ビニル床シート及びビニル床タイル用 ホルムアルデヒド放散量による区分 ※F☆☆☆☆ ・ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合 ・ ゴム床タイル用 ホルムアルデヒド放散量による区分 ※F☆☆☆☆ ・ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合 ・ 下地の工法 [6.8.3] ※標準仕様書6.8.3(1) (7)～(9)による ・	織じゅうたん [6.9.2][表6.9.1] 織り方 バイエル形状 帯電性 品質の程度 ・ウィルトン ・カットバイエル ・適用する ・ダブルフェーズ ・ループバイエル 人体耐電圧の値は3KV以下 ・アキスミンスター2 ・カット、ループ併用 (品質の程度は参考商品である) 色柄及びバイエル系の種類等 ※模様のない無地のもの(・A種 ・B種 ・C種) ・ タフテッドカーペット [6.9.2][表6.9.3] バイエル形状 バイエル長(mm) 帯電性 工法の種類 品質の程度 ・カットバイエル ・適用する ・ループバイエル 人体耐電圧 の値は3KV以下 ・カット、ループ併用 (品質の程度は参考商品である) タイルカーペット [6.9.2] 種類 バイエル形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質の程度 ※第一種 ・カットバイエル ※500×500 ※6.5 ・防炎品 ・第二種 ※ループバイエル ・ 静電気防止品 ・カット、ループ併用 (品質の程度は参考商品である) 下敷き材 [6.9.2] 種類 呼び厚さ(mm) ※JIS L 3204の2種2号 ・ ※B ・ 取付用付属品 [6.9.2] 見切り 材質< > 種類< > 形状< > > 押え金物 材質< > 種類< > 形状< > > 接着剤 [6.9.2] タイルカーペット用 ホルムアルデヒド放散量による区分 ※F☆☆☆☆ ・ タフテッドカーペット用 ホルムアルデヒド放散量による区分 ※F☆☆☆☆ ・ グリップ工法の織りじゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・ [6.9.3] タイルカーペットの敷き方 [6.9.3] 平 場 ※市松敷き ・ 階段部分 ※模様流し ・	17 カーペット敷き	18 合成樹脂塗床	合成樹脂塗床のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ [6.10.2] [6.10.3][表6.10.4～7] 種類 工法 仕上げの種類 ・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 ・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床 ・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床 ・薄膜型塗床材	19 フローリング張り	フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書6.11.2(2)による ・ フローリングの種類 [6.11.2][6.11.1～6][表6.11.1][表6.11.3] 単層フローリング 樹種 厚さ(mm) 大きさ(mm) 塗装 ・フローリングボード 2等 幅 ・ 長さ ・ 1等 長さ・ ・フローリングブロック 2等 幅 ・ 長さ・ 1等 複合フローリング 樹種 種別 防湿処理 塗装 ・天然木化粧 幅 ・ A種 長さ ・ ・B種 ・C種 ・行う 工法 ・釘留め工法 (・根太張り工法 ・直張り工法) [6.11.3] ・接着工法 接着工法の場合のフローリング裏面の不陸隠蔽材 ※合成樹脂発泡シート [6.11.5] 塗装の塗り替えを行う場合の下地調整及び塗装 ・ [6.11.6]
	21 せっこうボード、その他のボード及び合板張り	名称 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード(GB-R) ・9.5 ・12.5 ・シージングせっこうボード(GB-S) ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード(GB-F) ○化粧せっこうボード(GB-D) ①9.5 ・12.5 ・せっこうラスボード(GB-L) ・不燃積層せっこうボード(GB-HC) ・9.5 吸音材 ・ロックウール吸音フェルト(RWF) ・ ・ロックウール吸音ボード(GB-B) 吸音板 ・ロックウール吸音ブラケット(RWB-BL) ・ グラスウール ・グラスウール吸音フェルト(GB-F) ・ 吸音板 ・グラスウール吸音ボード(GB-B) ・ ・ロックウール化粧吸音板(RWF) ・12 ・12(溝付) ・吸音用インシュレーションファイバーボード(IB) ・ ・吸音用木毛セメント板(MWC) ・ ・吸音用あなきせっこうボード(GB-P) ・ ・吸音用あなきハードファイバーボード(HBP-P) ・ ・ パーティクルボード ・素地パーティクルボード研磨板(RS) ・ ・単板張りパーティクルボード研磨板(VS) ・ ・化粧パーティクルボード単板オーバーレイ(DV) ・ ・プラスチックオーバーレイ(DO) ・ ・塗装(DC) ・ 繊維強化セメント板 ・0.81けい酸カルシウム板(0.8FK) ・ ・1.01けい酸カルシウム板(1.0FK) ・6.0 セメント板 ・硬質木毛セメント板(HM) ・ ・中等木毛セメント板(MM) ・ ・普通木毛セメント板(MN) ・ 木片 ・硬質木片セメント板(MF) ・ セメント板 ・普通木片セメント板(DF) ・ ・ 線板 ・素地 ・スタンダードボード ・ハーフボード ・テンバードボード ・ド(HB) ・内装用化粧ハードボード ・メディアムデンシティファイバーボード(MDF) ① ・ ・素地 ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 ・押入収納内装材 ・タタミボード ・シージングボード ・(IB) ・シージングボード ・火山性ガラス質複層板(VSボード) ・ ・その他 パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・	25 清掃	7 塗装改修工事	1 材料 2 防火材料 3 下地調整 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	2 材料 3 防火材料 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	6 合成樹脂調合ペイント(SOP) 7 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 8 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 9 耐候性塗料塗り(DP) 10 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	木部の合成樹脂調合ペイント塗り 新規の場合 (多孔隙広葉樹を除く) 屋外 ※A種 ・B種 ・C種 屋内 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 ※A種 ※B種 ・C種 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 新規の場合 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 鋼製建具の場合 ※A種 ・B種 ・C種 その他 ※A種 ※B種 ・C種 コンクリート面及び押出成形セメント版面耐候性塗料塗りの種類 ・A-1 ・A-2 ・B-1 ・B-2 ・C-1 ・C-2 コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 しみ止め(塗替えの場合) ※改修標準仕様書7.9.2.(2)による ・ 屋内の木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 新規(多孔隙広葉樹を除く) ※A種 ・B種 ・C種 塗替え ・A種 ※B種 ・C種 屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 屋内の亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ※A種 ・B種 ・C種			
	22 壁紙張り	名称 種類 表板の樹種名 板面の品質 処理 厚さ(mm) 接着の程度 ・普通合板 ・ ・ 防虫 ・ ・ 1種 ・ 2種 合板 種類 化粧板の樹種名 厚さ(mm) ・天然木 ・ 防虫 ・ 化粧合板 種類 化粧加工の方法 表面性能 処理 厚さ(mm) ・特殊加工 ・オーバーレイ ・ 防虫 ・ 化粧合板 ・プリント ・塗装 ホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書6.13.2(2) (f) による ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ 天井のボードの重ね張り (ロックウール吸音板の場合を除く) ・行う 合板張りの張付け [6.13.3][表6.13.3] 種類 ・A種 ・B種 せっこうボードの目地工法の種類 [6.13.3][表6.13.5] ・目透し工法 ・突付け工法 ・継目処理工法 せっこうボードの目地工法に応じたエッジの種類 ・テーバーエッジ ・ベベルエッジ ・スクエアエッジ 壁紙のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・ [6.14.2]	23 モルタル塗り	床塗りの仕上げ、床コンクリート直出し仕上げ、張物等の下地 [6.8.3][6.15.6] 種類 ※セルフレベルング材 ・ [6.15.3][6.15.6] モルタル ・現場調合材料(材料は改修特記仕様書8-4「タタリ工事」による) ・既調合材料(JIS A 6916(建築用下地調整塗料)) 既製目地材 ・設ける 施工箇所() 形状(※図示) ・ () ・設けない 床目地 種類 ※押し目地 目地割り ※2m程度 ・ 最大目地間隔 ※3m程度 ・	24 タイル張り	5 錆止め塗料塗り	6 合成樹脂調合ペイント(SOP) 7 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 8 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 9 耐候性塗料塗り(DP) 10 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	木部の合成樹脂調合ペイント塗り 新規の場合 (多孔隙広葉樹を除く) 屋外 ※A種 ・B種 ・C種 屋内 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 ※A種 ※B種 ・C種 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 新規の場合 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 鋼製建具の場合 ※A種 ・B種 ・C種 その他 ※A種 ※B種 ・C種 コンクリート面及び押出成形セメント版面耐候性塗料塗りの種類 ・A-1 ・A-2 ・B-1 ・B-2 ・C-1 ・C-2 コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 しみ止め(塗替えの場合) ※改修標準仕様書7.9.2.(2)による ・ 屋内の木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 新規(多孔隙広葉樹を除く) ※A種 ・B種 ・C種 塗替え ・A種 ※B種 ・C種 屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 屋内の亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ※A種 ・B種 ・C種			
	25 錆止め塗料塗り	名称 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード(GB-R) ・9.5 ・12.5 ・シージングせっこうボード(GB-S) ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード(GB-F) ○化粧せっこうボード(GB-D) ①9.5 ・12.5 ・せっこうラスボード(GB-L) ・不燃積層せっこうボード(GB-HC) ・9.5 吸音材 ・ロックウール吸音フェルト(RWF) ・ ・ロックウール吸音ボード(GB-B) 吸音板 ・ロックウール吸音ブラケット(RWB-BL) ・ グラスウール ・グラスウール吸音フェルト(GB-F) ・ 吸音板 ・グラスウール吸音ボード(GB-B) ・ ・ロックウール化粧吸音板(RWF) ・12 ・12(溝付) ・吸音用インシュレーションファイバーボード(IB) ・ ・吸音用木毛セメント板(MWC) ・ ・吸音用あなきせっこうボード(GB-P) ・ ・吸音用あなきハードファイバーボード(HBP-P) ・ ・ パーティクルボード ・素地パーティクルボード研磨板(RS) ・ ・単板張りパーティクルボード研磨板(VS) ・ ・化粧パーティクルボード単板オーバーレイ(DV) ・ ・プラスチックオーバーレイ(DO) ・ ・塗装(DC) ・ 繊維強化セメント板 ・0.81けい酸カルシウム板(0.8FK) ・ ・1.01けい酸カルシウム板(1.0FK) ・6.0 セメント板 ・硬質木毛セメント板(HM) ・ ・中等木毛セメント板(MM) ・ ・普通木毛セメント板(MN) ・ 木片 ・硬質木片セメント板(MF) ・ セメント板 ・普通木片セメント板(DF) ・ ・ 線板 ・素地 ・スタンダードボード ・ハーフボード ・テンバードボード ・ド(HB) ・内装用化粧ハードボード ・メディアムデンシティファイバーボード(MDF) ① ・ ・素地 ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 ・押入収納内装材 ・タタミボード ・シージングボード ・(IB) ・シージングボード ・火山性ガラス質複層板(VSボード) ・ ・その他 パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・	26 錆止め塗料塗り	7 塗装改修工事	1 材料 2 防火材料 3 下地調整 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	2 材料 3 防火材料 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	6 合成樹脂調合ペイント(SOP) 7 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 8 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 9 耐候性塗料塗り(DP) 10 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	木部の合成樹脂調合ペイント塗り 新規の場合 (多孔隙広葉樹を除く) 屋外 ※A種 ・B種 ・C種 屋内 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 ※A種 ※B種 ・C種 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 新規の場合 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 鋼製建具の場合 ※A種 ・B種 ・C種 その他 ※A種 ※B種 ・C種 コンクリート面及び押出成形セメント版面耐候性塗料塗りの種類 ・A-1 ・A-2 ・B-1 ・B-2 ・C-1 ・C-2 コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 しみ止め(塗替えの場合) ※改修標準仕様書7.9.2.(2)による ・ 屋内の木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 新規(多孔隙広葉樹を除く) ※A種 ・B種 ・C種 塗替え ・A種 ※B種 ・C種 屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 屋内の亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ※A種 ・B種 ・C種			
	27 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD)	名称 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード(GB-R) ・9.5 ・12.5 ・シージングせっこうボード(GB-S) ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード(GB-F) ○化粧せっこうボード(GB-D) ①9.5 ・12.5 ・せっこうラスボード(GB-L) ・不燃積層せっこうボード(GB-HC) ・9.5 吸音材 ・ロックウール吸音フェルト(RWF) ・ ・ロックウール吸音ボード(GB-B) 吸音板 ・ロックウール吸音ブラケット(RWB-BL) ・ グラスウール ・グラスウール吸音フェルト(GB-F) ・ 吸音板 ・グラスウール吸音ボード(GB-B) ・ ・ロックウール化粧吸音板(RWF) ・12 ・12(溝付) ・吸音用インシュレーションファイバーボード(IB) ・ ・吸音用木毛セメント板(MWC) ・ ・吸音用あなきせっこうボード(GB-P) ・ ・吸音用あなきハードファイバーボード(HBP-P) ・ ・ パーティクルボード ・素地パーティクルボード研磨板(RS) ・ ・単板張りパーティクルボード研磨板(VS) ・ ・化粧パーティクルボード単板オーバーレイ(DV) ・ ・プラスチックオーバーレイ(DO) ・ ・塗装(DC) ・ 繊維強化セメント板 ・0.81けい酸カルシウム板(0.8FK) ・ ・1.01けい酸カルシウム板(1.0FK) ・6.0 セメント板 ・硬質木毛セメント板(HM) ・ ・中等木毛セメント板(MM) ・ ・普通木毛セメント板(MN) ・ 木片 ・硬質木片セメント板(MF) ・ セメント板 ・普通木片セメント板(DF) ・ ・ 線板 ・素地 ・スタンダードボード ・ハーフボード ・テンバードボード ・ド(HB) ・内装用化粧ハードボード ・メディアムデンシティファイバーボード(MDF) ① ・ ・素地 ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 ・押入収納内装材 ・タタミボード ・シージングボード ・(IB) ・シージングボード ・火山性ガラス質複層板(VSボード) ・ ・その他 パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・	28 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD)	7 塗装改修工事	1 材料 2 防火材料 3 下地調整 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	2 材料 3 防火材料 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	6 合成樹脂調合ペイント(SOP) 7 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 8 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 9 耐候性塗料塗り(DP) 10 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	木部の合成樹脂調合ペイント塗り 新規の場合 (多孔隙広葉樹を除く) 屋外 ※A種 ・B種 ・C種 屋内 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 ※A種 ※B種 ・C種 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 新規の場合 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 鋼製建具の場合 ※A種 ・B種 ・C種 その他 ※A種 ※B種 ・C種 コンクリート面及び押出成形セメント版面耐候性塗料塗りの種類 ・A-1 ・A-2 ・B-1 ・B-2 ・C-1 ・C-2 コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 しみ止め(塗替えの場合) ※改修標準仕様書7.9.2.(2)による ・ 屋内の木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 新規(多孔隙広葉樹を除く) ※A種 ・B種 ・C種 塗替え ・A種 ※B種 ・C種 屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 屋内の亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ※A種 ・B種 ・C種			
	29 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD)	名称 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード(GB-R) ・9.5 ・12.5 ・シージングせっこうボード(GB-S) ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード(GB-F) ○化粧せっこうボード(GB-D) ①9.5 ・12.5 ・せっこうラスボード(GB-L) ・不燃積層せっこうボード(GB-HC) ・9.5 吸音材 ・ロックウール吸音フェルト(RWF) ・ ・ロックウール吸音ボード(GB-B) 吸音板 ・ロックウール吸音ブラケット(RWB-BL) ・ グラスウール ・グラスウール吸音フェルト(GB-F) ・ 吸音板 ・グラスウール吸音ボード(GB-B) ・ ・ロックウール化粧吸音板(RWF) ・12 ・12(溝付) ・吸音用インシュレーションファイバーボード(IB) ・ ・吸音用木毛セメント板(MWC) ・ ・吸音用あなきせっこうボード(GB-P) ・ ・吸音用あなきハードファイバーボード(HBP-P) ・ ・ パーティクルボード ・素地パーティクルボード研磨板(RS) ・ ・単板張りパーティクルボード研磨板(VS) ・ ・化粧パーティクルボード単板オーバーレイ(DV) ・ ・プラスチックオーバーレイ(DO) ・ ・塗装(DC) ・ 繊維強化セメント板 ・0.81けい酸カルシウム板(0.8FK) ・ ・1.01けい酸カルシウム板(1.0FK) ・6.0 セメント板 ・硬質木毛セメント板(HM) ・ ・中等木毛セメント板(MM) ・ ・普通木毛セメント板(MN) ・ 木片 ・硬質木片セメント板(MF) ・ セメント板 ・普通木片セメント板(DF) ・ ・ 線板 ・素地 ・スタンダードボード ・ハーフボード ・テンバードボード ・ド(HB) ・内装用化粧ハードボード ・メディアムデンシティファイバーボード(MDF) ① ・ ・素地 ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 ・押入収納内装材 ・タタミボード ・シージングボード ・(IB) ・シージングボード ・火山性ガラス質複層板(VSボード) ・ ・その他 パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・	30 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD)	7 塗装改修工事	1 材料 2 防火材料 3 下地調整 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	2 材料 3 防火材料 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	6 合成樹脂調合ペイント(SOP) 7 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 8 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 9 耐候性塗料塗り(DP) 10 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	木部の合成樹脂調合ペイント塗り 新規の場合 (多孔隙広葉樹を除く) 屋外 ※A種 ・B種 ・C種 屋内 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 ※A種 ※B種 ・C種 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 新規の場合 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 鋼製建具の場合 ※A種 ・B種 ・C種 その他 ※A種 ※B種 ・C種 コンクリート面及び押出成形セメント版面耐候性塗料塗りの種類 ・A-1 ・A-2 ・B-1 ・B-2 ・C-1 ・C-2 コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 しみ止め(塗替えの場合) ※改修標準仕様書7.9.2.(2)による ・ 屋内の木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 新規(多孔隙広葉樹を除く) ※A種 ・B種 ・C種 塗替え ・A種 ※B種 ・C種 屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 屋内の亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ※A種 ・B種 ・C種			
	31 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD)	名称 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード(GB-R) ・9.5 ・12.5 ・シージングせっこうボード(GB-S) ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード(GB-F) ○化粧せっこうボード(GB-D) ①9.5 ・12.5 ・せっこうラスボード(GB-L) ・不燃積層せっこうボード(GB-HC) ・9.5 吸音材 ・ロックウール吸音フェルト(RWF) ・ ・ロックウール吸音ボード(GB-B) 吸音板 ・ロックウール吸音ブラケット(RWB-BL) ・ グラスウール ・グラスウール吸音フェルト(GB-F) ・ 吸音板 ・グラスウール吸音ボード(GB-B) ・ ・ロックウール化粧吸音板(RWF) ・12 ・12(溝付) ・吸音用インシュレーションファイバーボード(IB) ・ ・吸音用木毛セメント板(MWC) ・ ・吸音用あなきせっこうボード(GB-P) ・ ・吸音用あなきハードファイバーボード(HBP-P) ・ ・ パーティクルボード ・素地パーティクルボード研磨板(RS) ・ ・単板張りパーティクルボード研磨板(VS) ・ ・化粧パーティクルボード単板オーバーレイ(DV) ・ ・プラスチックオーバーレイ(DO) ・ ・塗装(DC) ・ 繊維強化セメント板 ・0.81けい酸カルシウム板(0.8FK) ・ ・1.01けい酸カルシウム板(1.0FK) ・6.0 セメント板 ・硬質木毛セメント板(HM) ・ ・中等木毛セメント板(MM) ・ ・普通木毛セメント板(MN) ・ 木片 ・硬質木片セメント板(MF) ・ セメント板 ・普通木片セメント板(DF) ・ ・ 線板 ・素地 ・スタンダードボード ・ハーフボード ・テンバードボード ・ド(HB) ・内装用化粧ハードボード ・メディアムデンシティファイバーボード(MDF) ① ・ ・素地 ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 ・押入収納内装材 ・タタミボード ・シージングボード ・(IB) ・シージングボード ・火山性ガラス質複層板(VSボード) ・ ・その他 パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・	32 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD)	7 塗装改修工事	1 材料 2 防火材料 3 下地調整 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	2 材料 3 防火材料 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	6 合成樹脂調合ペイント(SOP) 7 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 8 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 9 耐候性塗料塗り(DP) 10 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	木部の合成樹脂調合ペイント塗り 新規の場合 (多孔隙広葉樹を除く) 屋外 ※A種 ・B種 ・C種 屋内 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 ※A種 ※B種 ・C種 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 新規の場合 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 鋼製建具の場合 ※A種 ・B種 ・C種 その他 ※A種 ※B種 ・C種 コンクリート面及び押出成形セメント版面耐候性塗料塗りの種類 ・A-1 ・A-2 ・B-1 ・B-2 ・C-1 ・C-2 コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 しみ止め(塗替えの場合) ※改修標準仕様書7.9.2.(2)による ・ 屋内の木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 新規(多孔隙広葉樹を除く) ※A種 ・B種 ・C種 塗替え ・A種 ※B種 ・C種 屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 屋内の亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ※A種 ・B種 ・C種			
	33 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD)	名称 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード(GB-R) ・9.5 ・12.5 ・シージングせっこうボード(GB-S) ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード(GB-F) ○化粧せっこうボード(GB-D) ①9.5 ・12.5 ・せっこうラスボード(GB-L) ・不燃積層せっこうボード(GB-HC) ・9.5 吸音材 ・ロックウール吸音フェルト(RWF) ・ ・ロックウール吸音ボード(GB-B) 吸音板 ・ロックウール吸音ブラケット(RWB-BL) ・ グラスウール ・グラスウール吸音フェルト(GB-F) ・ 吸音板 ・グラスウール吸音ボード(GB-B) ・ ・ロックウール化粧吸音板(RWF) ・12 ・12(溝付) ・吸音用インシュレーションファイバーボード(IB) ・ ・吸音用木毛セメント板(MWC) ・ ・吸音用あなきせっこうボード(GB-P) ・ ・吸音用あなきハードファイバーボード(HBP-P) ・ ・ パーティクルボード ・素地パーティクルボード研磨板(RS) ・ ・単板張りパーティクルボード研磨板(VS) ・ ・化粧パーティクルボード単板オーバーレイ(DV) ・ ・プラスチックオーバーレイ(DO) ・ ・塗装(DC) ・ 繊維強化セメント板 ・0.81けい酸カルシウム板(0.8FK) ・ ・1.01けい酸カルシウム板(1.0FK) ・6.0 セメント板 ・硬質木毛セメント板(HM) ・ ・中等木毛セメント板(MM) ・ ・普通木毛セメント板(MN) ・ 木片 ・硬質木片セメント板(MF) ・ セメント板 ・普通木片セメント板(DF) ・ ・ 線板 ・素地 ・スタンダードボード ・ハーフボード ・テンバードボード ・ド(HB) ・内装用化粧ハードボード ・メディアムデンシティファイバーボード(MDF) ① ・ ・素地 ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 ・押入収納内装材 ・タタミボード ・シージングボード ・(IB) ・シージングボード ・火山性ガラス質複層板(VSボード) ・ ・その他 パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・	34 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD)	7 塗装改修工事	1 材料 2 防火材料 3 下地調整 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	2 材料 3 防火材料 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	6 合成樹脂調合ペイント(SOP) 7 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 8 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 9 耐候性塗料塗り(DP) 10 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	木部の合成樹脂調合ペイント塗り 新規の場合 (多孔隙広葉樹を除く) 屋外 ※A種 ・B種 ・C種 屋内 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 ※A種 ※B種 ・C種 鉄鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 亜鉛めっき鋼面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 新規の場合 ・A種 ※B種 ・C種 塗替えの場合 鋼製建具の場合 ※A種 ・B種 ・C種 その他 ※A種 ※B種 ・C種 コンクリート面及び押出成形セメント版面耐候性塗料塗りの種類 ・A-1 ・A-2 ・B-1 ・B-2 ・C-1 ・C-2 コンクリート、モルタル、プaster、せっこうボード、その他ボード面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 しみ止め(塗替えの場合) ※改修標準仕様書7.9.2.(2)による ・ 屋内の木部つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 新規(多孔隙広葉樹を除く) ※A種 ・B種 ・C種 塗替え ・A種 ※B種 ・C種 屋内の鉄鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ・A種 ※B種 ・C種 屋内の亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 ※A種 ・B種 ・C種			
	35 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD)	名称 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード(GB-R) ・9.5 ・12.5 ・シージングせっこうボード(GB-S) ・9.5 ・12.5 ・強化せっこうボード(GB-F) ○化粧せっこうボード(GB-D) ①9.5 ・12.5 ・せっこうラスボード(GB-L) ・不燃積層せっこうボード(GB-HC) ・9.5 吸音材 ・ロックウール吸音フェルト(RWF) ・ ・ロックウール吸音ボード(GB-B) 吸音板 ・ロックウール吸音ブラケット(RWB-BL) ・ グラスウール ・グラスウール吸音フェルト(GB-F) ・ 吸音板 ・グラスウール吸音ボード(GB-B) ・ ・ロックウール化粧吸音板(RWF) ・12 ・12(溝付) ・吸音用インシュレーションファイバーボード(IB) ・ ・吸音用木毛セメント板(MWC) ・ ・吸音用あなきせっこうボード(GB-P) ・ ・吸音用あなきハードファイバーボード(HBP-P) ・ ・ パーティクルボード ・素地パーティクルボード研磨板(RS) ・ ・単板張りパーティクルボード研磨板(VS) ・ ・化粧パーティクルボード単板オーバーレイ(DV) ・ ・プラスチックオーバーレイ(DO) ・ ・塗装(DC) ・ 繊維強化セメント板 ・0.81けい酸カルシウム板(0.8FK) ・ ・1.01けい酸カルシウム板(1.0FK) ・6.0 セメント板 ・硬質木毛セメント板(HM) ・ ・中等木毛セメント板(MM) ・ ・普通木毛セメント板(MN) ・ 木片 ・硬質木片セメント板(MF) ・ セメント板 ・普通木片セメント板(DF) ・ ・ 線板 ・素地 ・スタンダードボード ・ハーフボード ・テンバードボード ・ド(HB) ・内装用化粧ハードボード ・メディアムデンシティファイバーボード(MDF) ① ・ ・素地 ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材 ・押入収納内装材 ・タタミボード ・シージングボード ・(IB) ・シージングボード ・火山性ガラス質複層板(VSボード) ・ ・その他 パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ・	36 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD)	7 塗装改修工事	1 材料 2 防火材料 3 下地調整 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	2 材料 3 防火材料 4 素地ごしらえ 5 錆止め塗料塗り	6 合成樹脂調合ペイント(SOP) 7 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 8 珪酸塩系非水分散形塗料塗り(NAD) 9 耐候性塗料塗り(DP) 10 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	木部の合成樹脂調合ペイント塗り 新規			

8環境配慮改修工事石綿処理

①一般事項

建築設備に使用されている石綿含有材の処理
・行う
・行わない
除去後の仕上げ工事
・図示（図面番号）
石綿粉じん濃度測定
・行う測定対象工事（）
・行わない
測定時期測定場所測定点計
処理作業前・処理作業室内点室点
・施工区画周辺又は敷地境界点室点
処理作業中・処理作業室内点室点
・セキュリティゾーン入口点室点
・集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）点室点
・施工区画周辺又は敷地境界点室点
処理作業後・処理作業室内点室点
（隔離シート撤去前）・施工区画周辺又は敷地境界点室点
合計点
測定方法※位相差顕微鏡法

②石綿作業主任者※適用する

3特別管理産業廃棄物管理責任者※適用する

④表示及び掲示※事前調査結果、作業内容を公表及び労働者に見やすい場所に掲示すること（石綿含有仕上塗材除去に関して、労働基準監督署及び奈良県環境環境総合センター（奈良市においては奈良市保健・環境検査課）への届出は不要）

5石綿含有吹付け材の除去※負担隔離養生を行う
除去工法
※除去工法（（一財）日本建築センター（BCJ）の審査証明（写）添付）
※除去工法（（一財）日本建築総合試験所（BBRI）同等の建築技術性能証明書（写）添付）
・封じ込み処理（）
・囲い込み処理（）
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化・固形化
保管場所（）
除去した石綿含有吹付け材の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）・中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）

6石綿含有保温材等の除去除去工法
・手ばらし（養生シート等を用いて隔離養生（負担不要）を行う）
・切断又は粉砕して除去（負担隔離養生を行う）
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
※湿潤化・固形化
保管場所（）
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分（管理型最終処分場）・中間処理（熔融施設又は無害化処理施設）

7石綿含有成形板等の除去除去工法
※原形のまま、手ばらし
・切断、粉砕等（養生シート等を用いて作業場所の周辺の養生を行う）
・（）
保管場所（）
除去した石綿含有成形板の処分
※石綿含有せっこうボードは管理型最終処分場で埋立処分する
・上記以外（・埋立処分・中間処理）

⑧石綿含有仕上塗材の除去除去工法
※建築物等の解体に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散防止徹底マニュアル（令和3年3月版）による工法の作業手順に従い、施工すること。
※隔離養生・（）
※湿潤化・（）
・高圧水洗や剥離剤を用いる。
・電動工具を用いて除去作業を行う。
（養生シート等で作業場所の隔離養生（負担不要）を行う）
・集塵機付ディスクグラインダーケレン（参考）
除去した石綿含有仕上塗材の固形化
・行う
・行わない
汚泥として処理が必要な場合・（）
除去した石綿含有仕上塗材の処分
①埋立処分・中間処理

⑨石綿含有材の箇所※仕上表及び図面の建材表示の前に▲を付したもの
※石綿含有の有無は、目視及び設計図書等によるものである。

9特別管理産業廃棄物の処理

10特殊な建設副産物の処理

1一般事項

②特別管理産業廃棄物の処分等

分析調査
微量PCB（）
PCB含有シーリング（）
ダイオキシン類のサンプリング調査
・行う（適用範囲）
・行わない

⑤.4.1
特別管理産業廃棄物
種類処分（処理）方法
①廃石綿等改修工事標準仕様書9章1節[石綿含有建材の除去工事]による
・PCBを含む機器類保管（保管場所：）
保管容器は別図による（図面番号：）
・PCB含有シーリング材保管（保管場所：）
・廃油・焼却処分
・中間処理施設再生処理
・廃酸／廃アルカリ製造業者又は専門業者（回収委託）
・中和処理
・焼却処分
・中間処理施設再生処理
・ダイオキシン類解体方法（）
処分方法（）

材料評価名簿

*建築材料表（以下のものは、評価名簿による）

種類	標準仕様書
・床型枠用鋼製デッキプレート（フラットデッキ）	(6.8)
・鉄骨柱下無収縮モルタル	(7.2)
・無収縮グラウト材（・プレミックス形／・現場調合形）	[8.2]
・押出成形セメント板	(8.5)
・成形伸縮目地材	(9.2)
・乾式保護材（防水立上り部）	(9.2)
・セラミックタイル	(11.2-3-4)
（・AⅡ（押出成形Ⅱ類）、・BⅠ（プレス成形Ⅰ類）、・BⅡ（プレス成形Ⅱ類）、・BⅢ（プレス成形Ⅲ類））	
・既設合モルタル（タイル工専用）	(11.2)
・既設合目地材	(11.2)
・ルーフトレン	(13.5)
・吸水調整材（モルタル用）	(15.3)
・防水剤	(15.3)
・アルミニウム製建具（・A種、・B種、・C種）	(16.2)
・樹脂製建具（B種）	(16.3)
・鋼製建具	(16.4)
・鋼製軽量建具	(16.5)
・ステンレス製建具	(16.6)
・錠前類	(16.8)
（シリンダー錠（・シリンダー錠／・レバーハンドル）、・シリンダー本納り錠）	
・クローザー類	(16.8)
（ドアクローザー（・Grade1／・Grade2）、・ヒンジクローザー、フロアヒンジ（・Grade1／・Grade2））	
・自動閉鎖機構（・駆動装置、・検出装置、・多機能トイレ用駆動装置）	(16.9)
・自閉式上吊り引戸機構（手動開き式）	(16.10)
・重量シャッター	(16.11)
・軽量シャッター	(16.12)
・オーバーヘッドドア	(16.13)
・ガラス	(16.14)
（・フロート板ガラス、・型板ガラス、・網入板ガラス及び線入板ガラス、・熱線吸収板ガラス、 ・倍強度ガラス、・熱線反射ガラス）	
・現場発泡断熱材	(19.9)
・フリーアクセスフロア（・3000N／・5000N）	(20.2)
・可動間仕切	(20.2)
・移動間仕切（スライディングドア）	(20.2)
・トイレブース	(20.2)
・煙突用成形ライニング材	(20.2)
・天井点検口	
・床点検口	
・グレーチング	(21.2)
・屋上緑化システム（板状成形品タイプ）	(23.5)[9.6]
・屋上緑化軽量システム	(23.5)[9.6]
・トップライト	
・ポリマーセメントモルタル	[4.2]
・錆蝕耐ふた（マンホールふた 井筒ふた）	
・	
・	
・	

（）は公共建築工事標準仕様書、[]は公共建築改修工事標準仕様書の章節番号を示す

*建築材料等参考表（材料評価名簿材料を除く）

建築材料	製造者名、型名

天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事

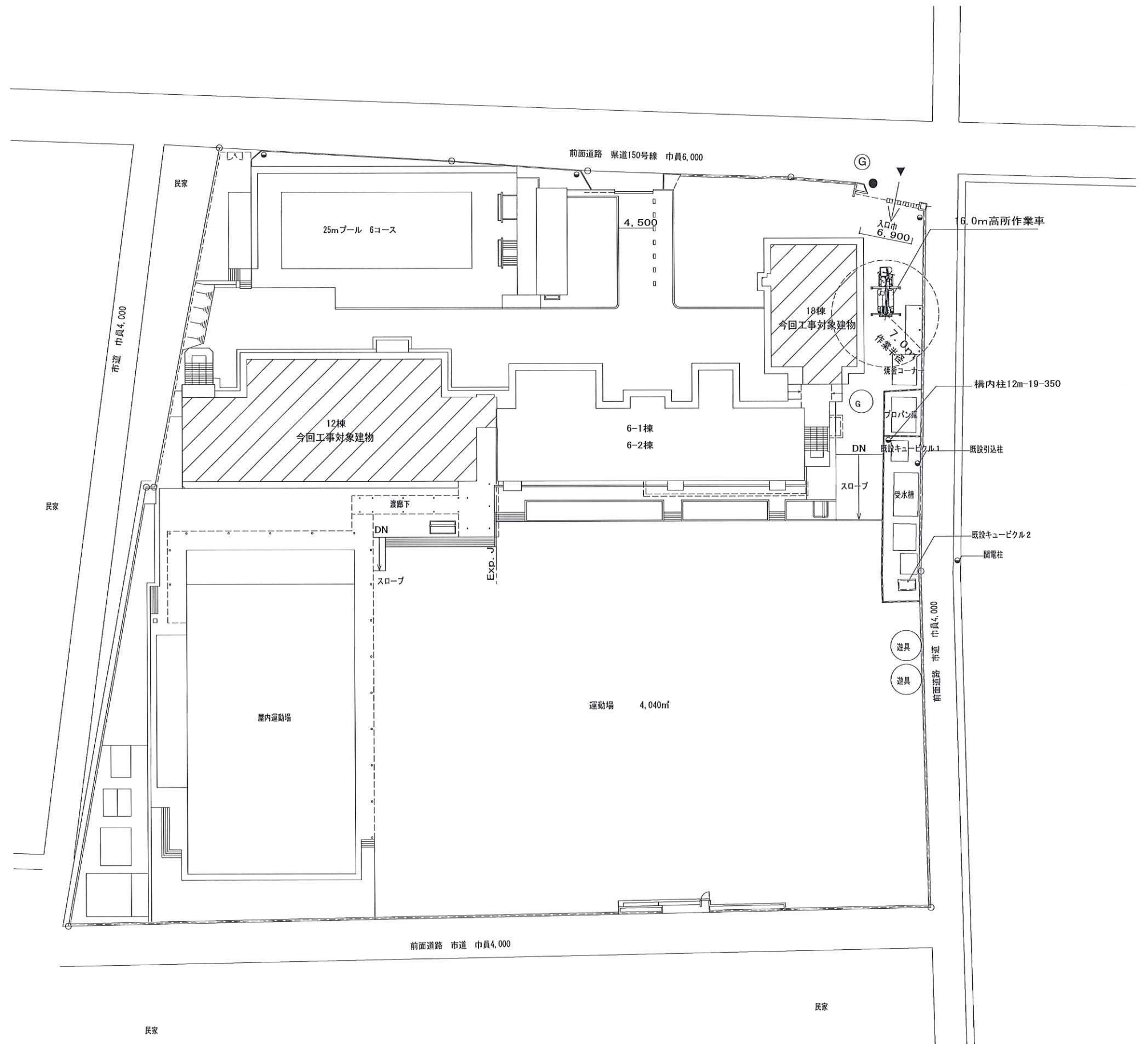
竣工年月日2024-11

図面名称特記仕様書 6

縮尺

奈良文庫電気設備株式会社

図番A-06



特記事項

※仮囲い、交通誘導員、資材置き場等の設置位置については、
原則工事予備区内に設ける事とし、範囲等については市監督員、学校と打合せ協議を行い、
その指示に従うこと。

※工事予備区については、原則図示範囲内に於いて最小限とし、そのエリアをカラーコーン
等に区画すること。なお、資材置付けについては、フェンスリールードにて囲いをする事。
※工事再開進入時間等は、見地の昼間時間と重ならないようにすること。
又、その際の安全対策については事前に市監督員、学校と協議を行い安全対策に万全を期す
ること。

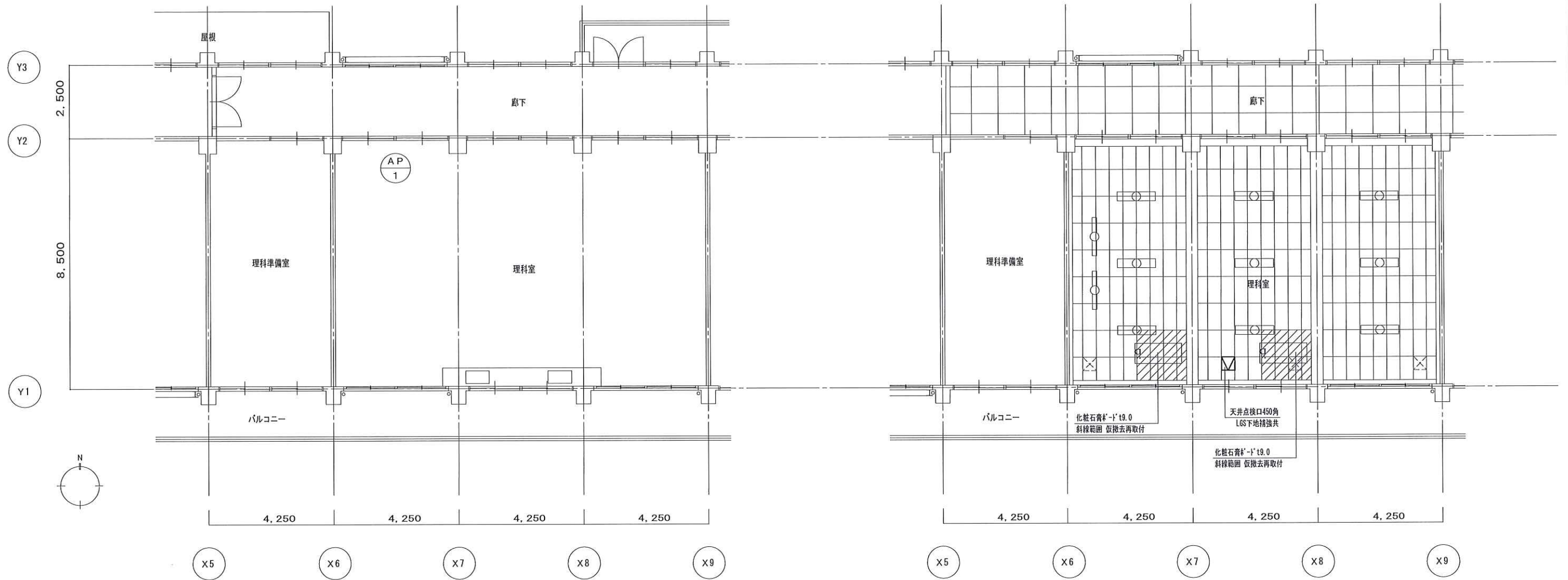
※工事車両の学校敷地内通行は、交通誘導員の先導のもと最慢行運転とする。

※工事開始直前直後については、現状調査の上記録を残し、養生等を行い、既設設備損傷の
ないよう施工すること。

万一、損傷、汚損等が生じた場合には、請負業者の負担にて現状復旧すること。
その他の安全対策については事前に市監督員、学校と協議を行い安全対策に万全を期すること。
※敷地の工事区警備範囲内の大部分は、竣工時に整地を行い、現状復旧すること。
※同時進行を行う別途工事と搬出入や土工工程、仮設計画等の調整を行うこと。
※フェンスリールードによる仮囲い範囲外で工事や搬出入を行う場合、カラーコーン等で
区切り、安全対策を行うこと。（屋外・屋内共）

※工事期間中施設開放を行うため、車両入庫、搬出入について市監督員、学校と詳細協議を
行い、安全対策に万全を期すること。

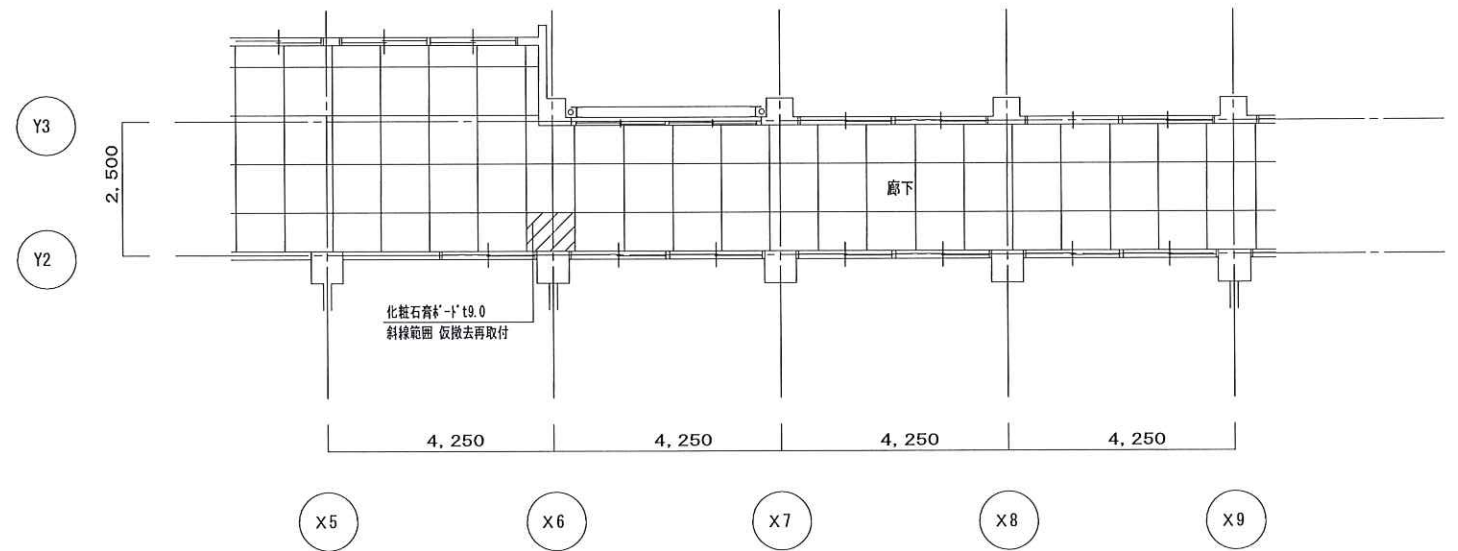
天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図 面 名 称	縮 尺	奈良文庫電気設備株式会社	図 番
	2024-11	配置図（仮設計画図）	1/500		A-07



4階 平面図

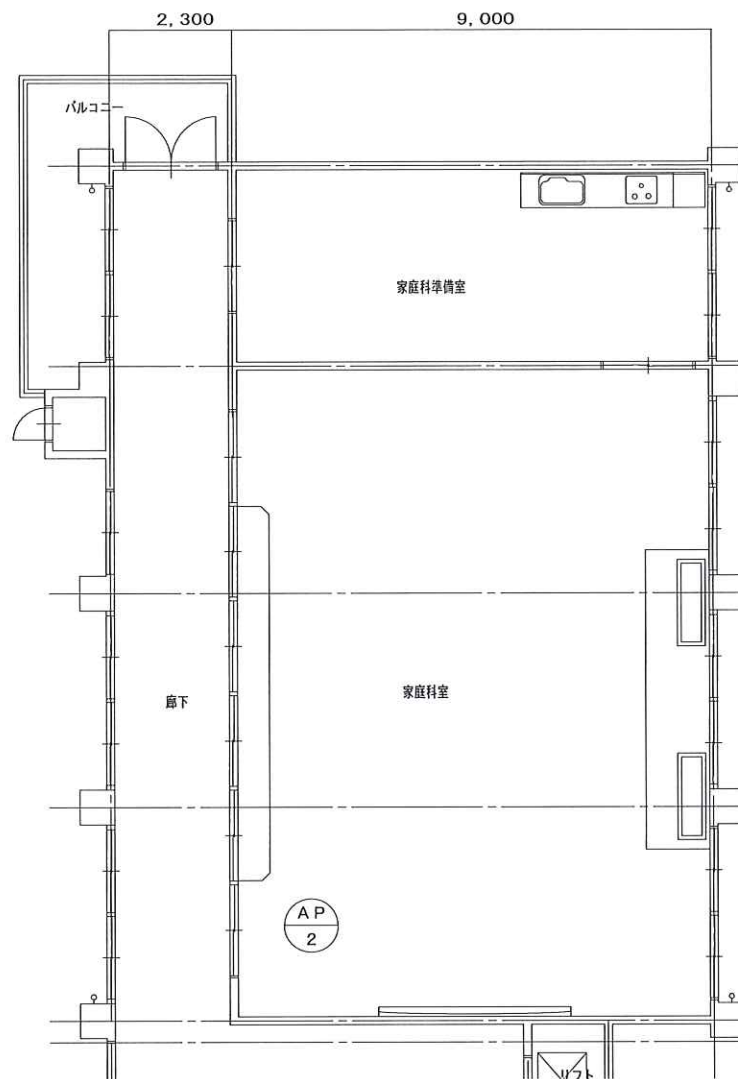
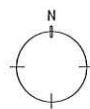
4階 天井伏図

記号・数量	AP 1	(1ヶ所)
姿 図	姿図：廊下面 …アルミ樹脂複合パネル範囲 	
名称・見込	アルミ製パーティション (学校間仕切) ・ 70	
硝 子	型板ガラスt=4 ランマのみ：フロートガラスt=3	
仕上・塗装	アルミアルマイト	
金 物	戸車・シリンドー錠・クレセント・附属金物一式	
備考 (改修内容)	ガラス撤去後、アルミ樹脂複合パネル	



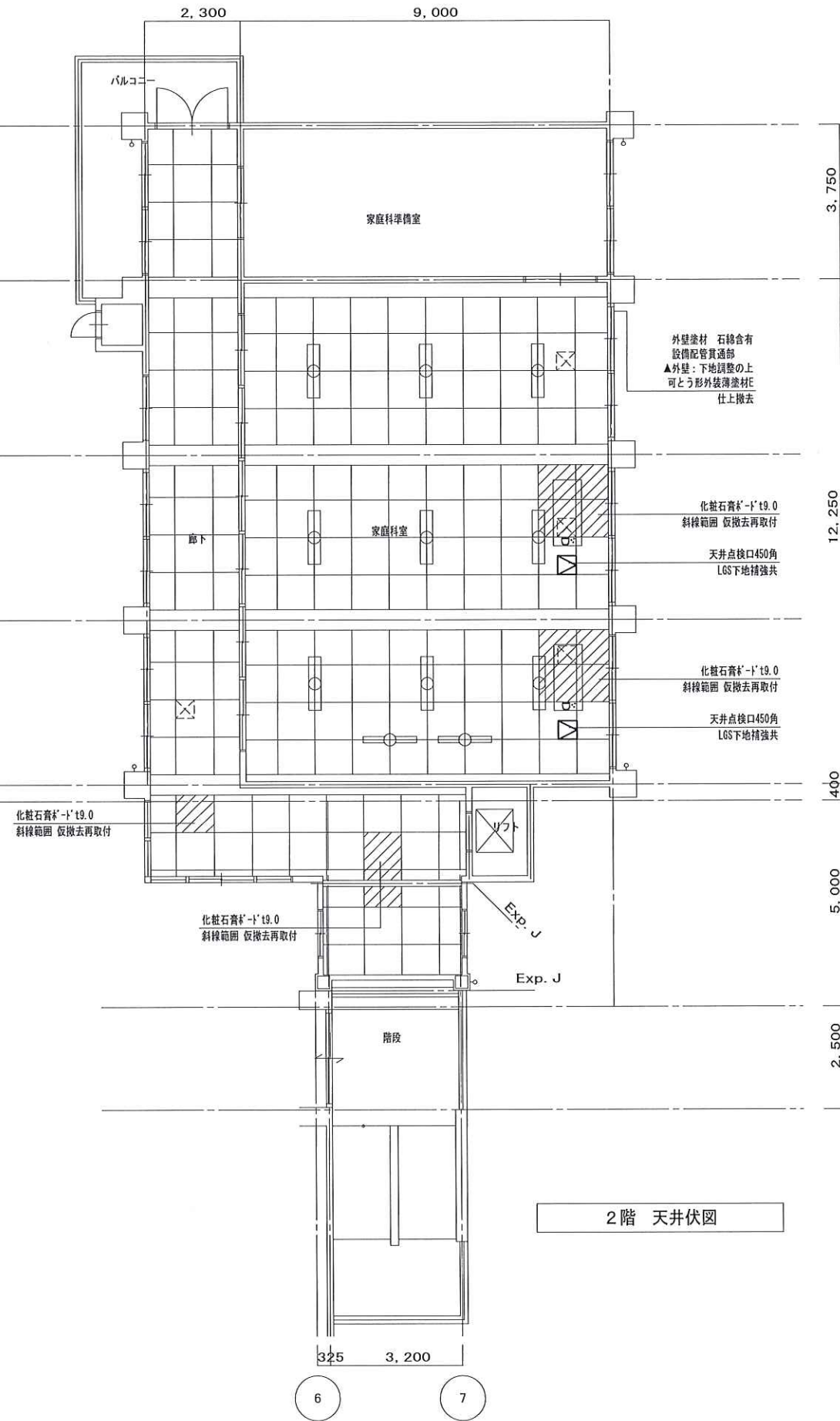
3階 天井伏図

天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図 面 名 称	縮 尺	奈良文庫電気設備株式会社	図 番
	2024-11	12棟 4階平面図・3、4階天井伏図	1/100		A-08

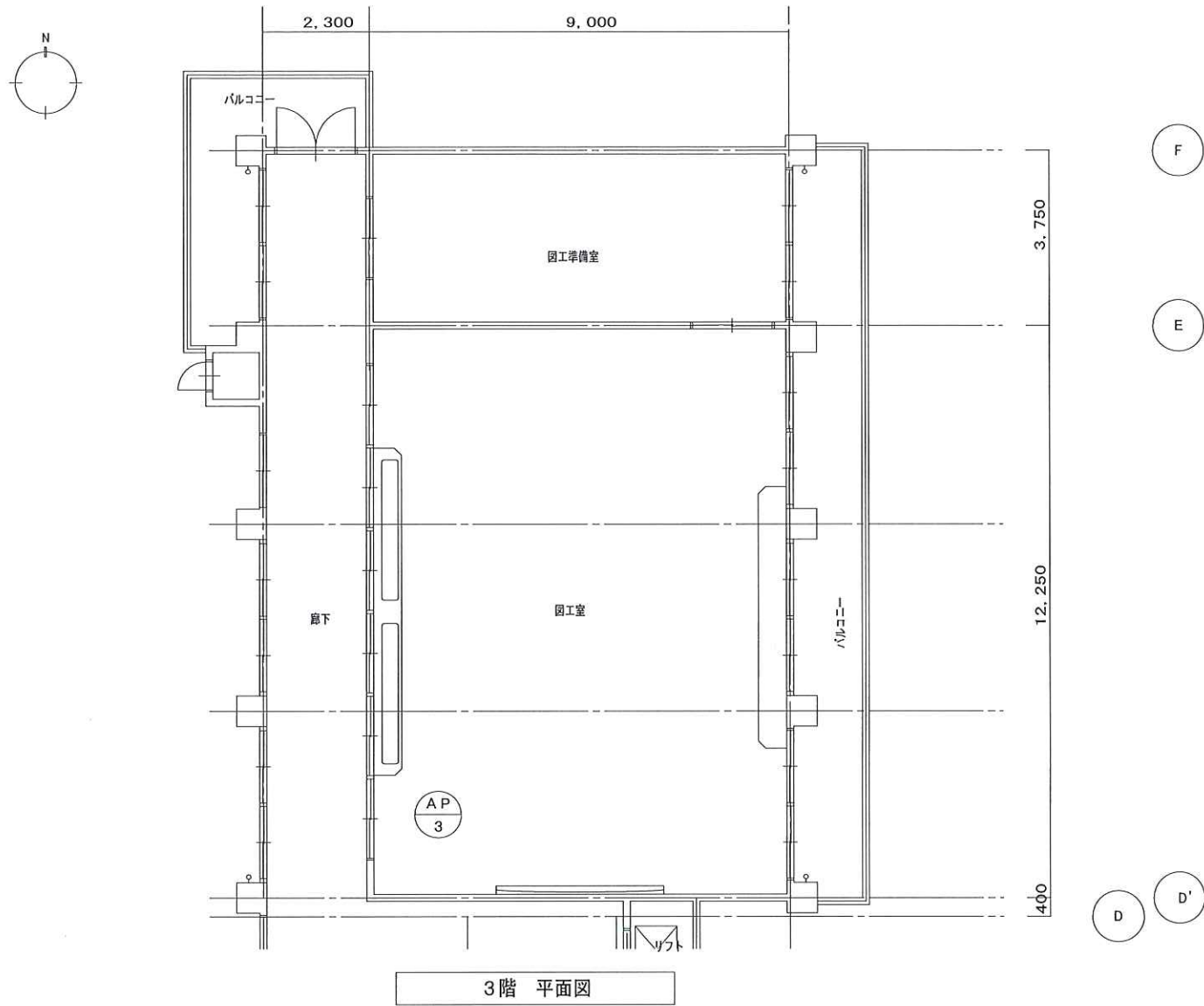


2階 平面図

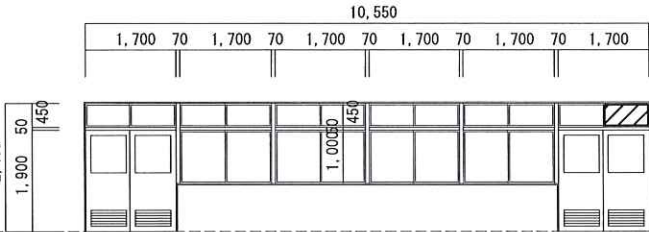
記号・数量	AP 2	(1ヶ所)
姿 図	<div>…アルミ樹脂複合パネル範囲</div>	姿図：廊下面
名称・見込	アルミ製パーティション（学校間仕切） ・ 70	
硝 子	型板ガラスt=4、フロートガラスt=5、 ランマ：フロートガラスt=3	
仕上・塗装	アルミアルマイト	
金 物	戸車・シリンダー錠・クレセント・附属金物一式	
備考（改修内容）	ガラス撤去後、アルミ樹脂複合パネル	

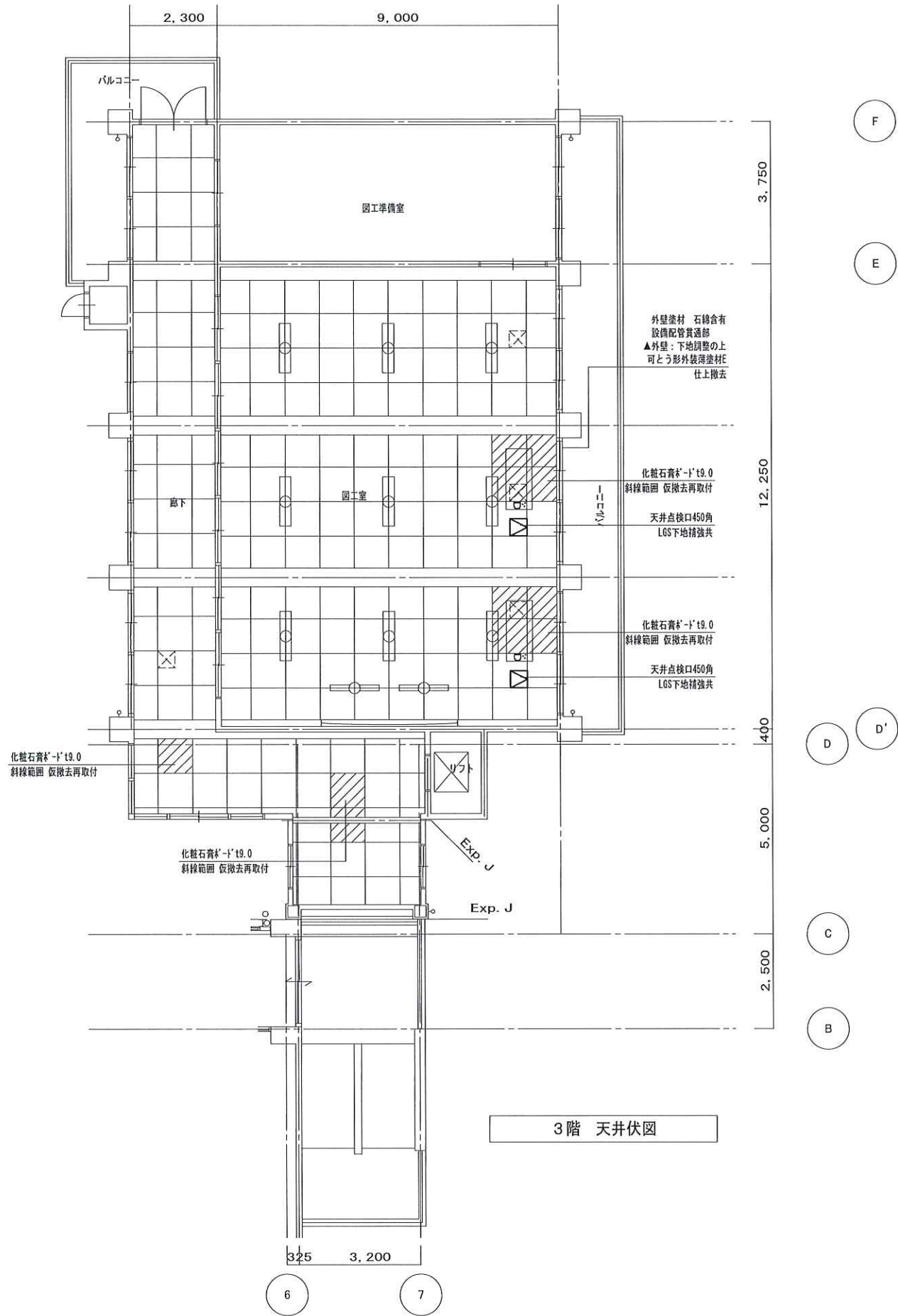


2階 天井伏図



3階 平面図

記号・数量	AP 3	(1ヶ所)
姿 図	姿 図：廊下面 ---アルミ樹脂複合パネル範囲 	
名称・見込	アルミ製パーティション (学校間仕切) ・ 70	
硝 子	型板ガラス t=4、フロートガラス t=5、 ランマ：フロートガラス t=3	
仕上・塗装	アルミアルマイト	
金 物	戸車・シリンダー錠・クレセント・附属金物一式	
備考 (改修内容)	ガラス撤去後、アルミ樹脂複合パネル	

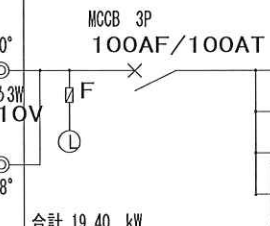
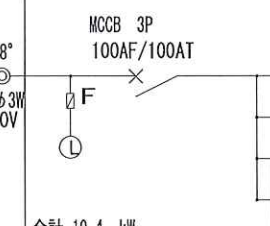
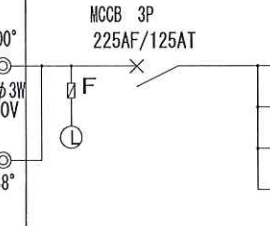
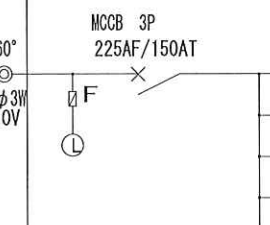


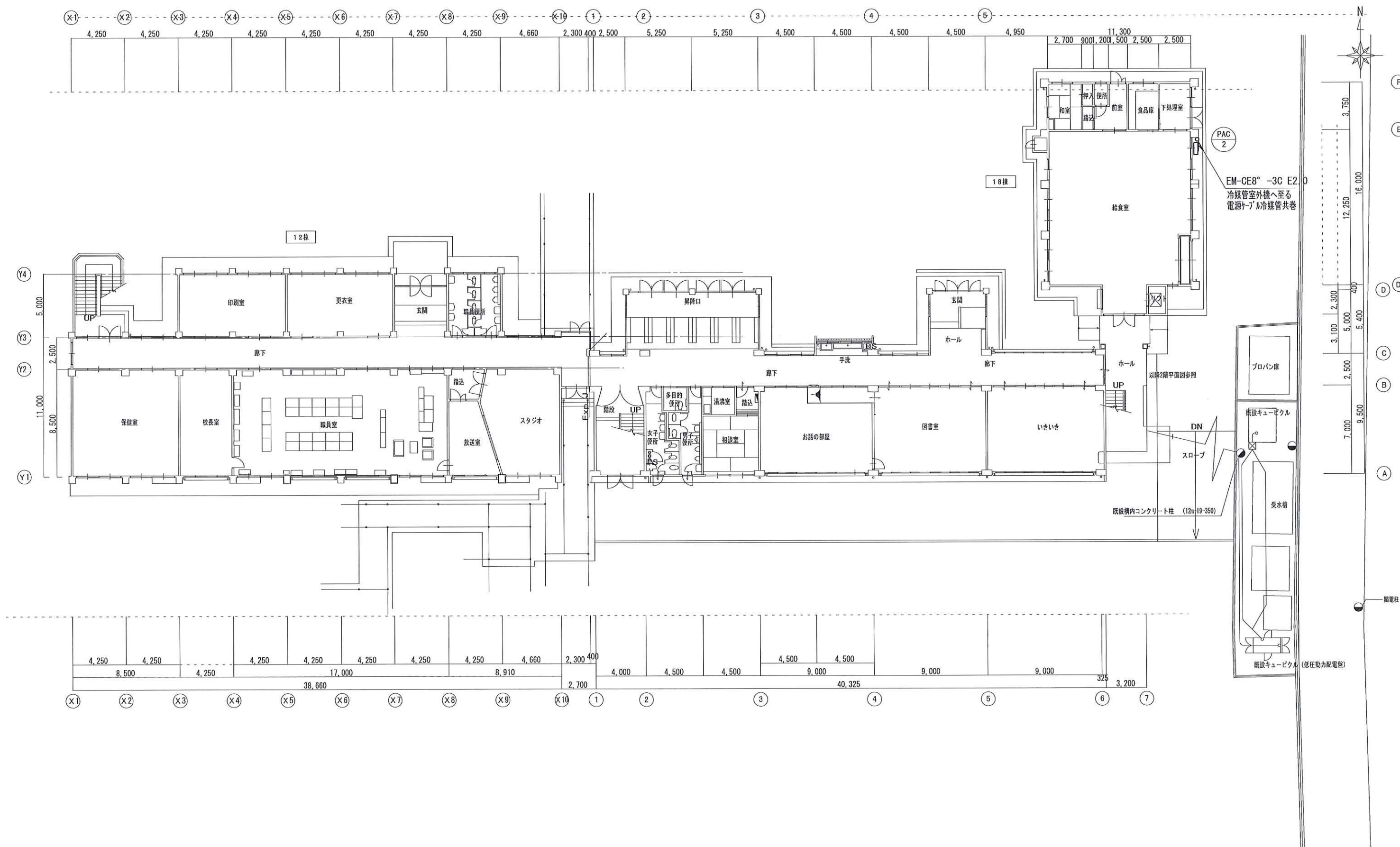
3階 天井伏図

[illegible]

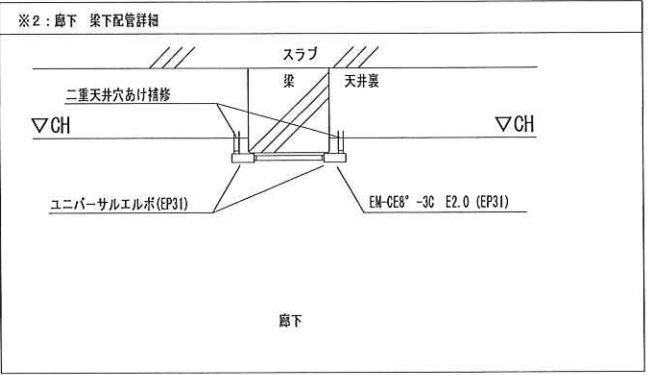
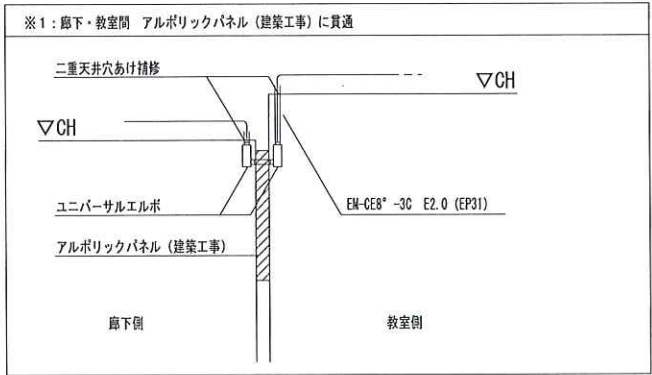
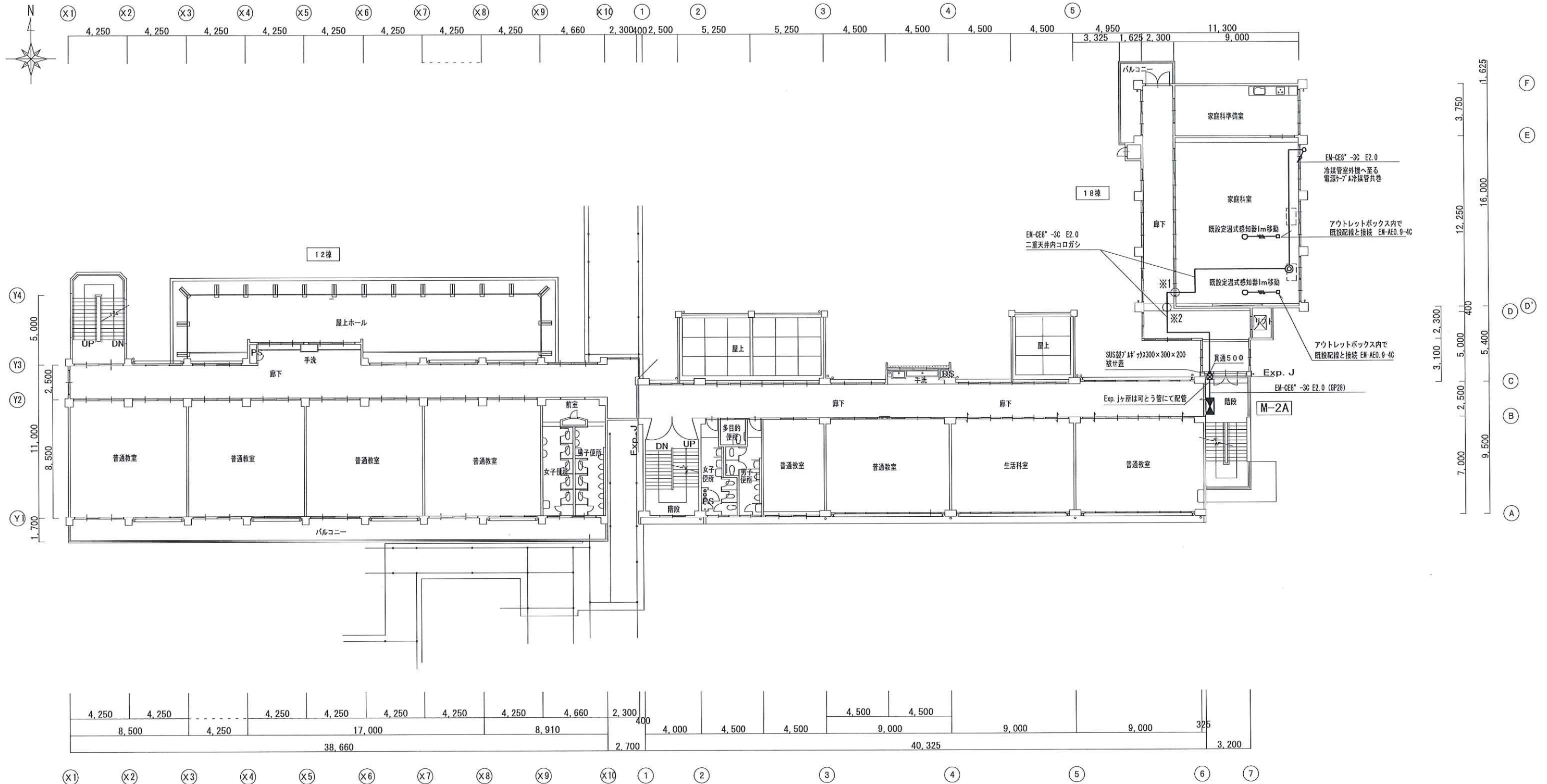
		令和4年版 Ver. 1.0			
共	○ 監督職員事務所（総合会議室を含む）	規模 〇10㎡程度〇20㎡程度〇30㎡程度〇65㎡程度〇100㎡程度 仕上げる程度 (1.2.1.1)<1.2.2.7>	●電線本数、管路等 分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 ○耐震施工 設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針（独立行政法人建築研究所監修）2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。 （1）設計用水平地震力 (2.1.1.13)<2.2.1.14> 機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合は、設計用標準水平震度は、次による。 設計用標準水平震度		
	○ 監督職員事務所の備品	監督員事務所の備品等の種類及び数量は以下の表による (1.2.1.1)<1.2.2.7>			
	○ 足場・さん橋類	※別契約の関係受注者が定置したものは、無償で利用できる。 ※本工事で設ける場合は、標準仕様書第2編第4章第1節4.1.1又は、改修標準仕様書第1編第2章第2節2.1.1によるほか 足場の設置においては「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。なお単管足場、枠組足場を用いる場合の設置場所については図示による。 <1.2.2.2> 内部足場 ※A種、B種、C種、D種 ○E種（単管足場） ○F種（くさび式緊結足場） ○G種（枠組足場） 外部足場 ○A種（枠組足場） ○B種（くさび式緊結足場） ○C種（単管足場） ※D種、E種 ○F種（高所作業車）			
	○ 工事用仮設物	構内につくることが ※できる ○できない ● 機器取付高さ 図面に特記なき場合は、別添（機器取付高さ）による。			
事	○ 土工事	○地中埋設管を除き、埋め戻し及び盛土は、 (1.2.2.1) ※根切り土の中の良質土を使用し、十分な締め固めを行う。 <1.2.3.1> ○山砂の類を使用し、十分な締め固めを行い、水締めを行う。 ○残土処分 ※公的な受入施設又は県土マネジメント部が建設発生土の受入施設として登録している民間受入施設に搬出 ○構内指示の場所に敷きならし（図面番号）			
	○地中埋設管の埋戻土	コンクリート管以外の管を地中埋設とする場合は、管及び被覆樹脂を傷めぬよう山砂の類で管の周囲を埋戻した後、掘削土の良質土で埋戻す。 (2.2.7.1)<2.2.5.1>			
	○地中埋設標	別図による。（図面番号）			
	○標識シート	全ての地中管路に標識シート(2倍長)を設ける。 地面（舗装がある場合は舗装下面）と埋設管先端との中間に敷設すること			
項	○砂利地業	○再生砕石 ○			
	○コンクリート工事	図面に明記なきコンクリート設計基準強度及びスランプは、下記による。 (1.2.4.1) 設計基準強度 ※18N/mm ² 以上 ○ <1.2.4.1> スランプ ※18cm以下 ○ 少量(1㎡以下)の場合は、配合計画書により強度試験を省略することが出来る。			
	○現場で行う塗装	塗装の色合等は監督員と協議する。 (1.2.2.7)<1.2.8.1> さび止め塗装が施された金属製ブルボックス等の機材 隠べい部 ※塗装しない 屋内露出部 ○別図による。（図面番号） ○塗装しない ○塗装する 屋外露出部 ○別図による。（図面番号） ○塗装しない ○塗装する 亜鉛めっきが施された機材 隠べい部 ※塗装しない 屋内露出部 ○別図による。（図面番号） ○塗装しない ○塗装する 屋外露出部 ○別図による。（図面番号） ○塗装しない ○塗装する			
	●はつり	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターとし、復旧はモルタル補修とする。梁貫通は不可。また、石綿含有仕上り塗材がある箇所の配管貫通部等については、関係法令の作業基準に従い、除去する石綿含有仕上り塗材を薬液等により湿潤し、手はつりにより除去する。 埋め込み配管等の探査 （○金属探知機により行う ○放射線透過検査（図面番号）） <1.2.11.1> 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用すること。			
電	○あと施工アンカー	埋め込み配管等の探査（○行わない ○金属探知機により行う） 性能確認試験 ○行う（図面番号） ○行わない 施工後確認試験 ○行う（図面番号） ○行わない 確認強度 （一社）日本建築あと施工アンカー協会によるあと施工アンカー基準試験法による。 試験の箇所数は建築改修標準仕様書による。 [8.12.7]			
	●電線管	図面上合成樹脂性可とう管(以下PP管という)であっても、露出部分は鋼製電線管で施工する。なお、鋼製電線管を使用する場合は、電線の収容本数を考慮する。また、屋外露出(雨線内・雨線外共)部分で明示無き場合は、鋼製電線管とする。			
	○最上階の埋込配管	最上階のスラブでモルタル防水及び樹脂防水の場合、埋込配管は避けるのを原則とする。			
	○風圧力の検討	建築基準法に定めるところによる風圧力(耐風力)検討(計算)書を監督職員に提出する。 なお、検討(計算)範囲は、それぞれの取付部分を含むものとする。 ○受雷部システム及び引下げ導線システム ○太陽光発電装置 ○風力発電装置 ○テレビ共同受信用アンテナ及びアンテナマスト ○ 風圧力に対する性能（建築基準法に定められた風速及び地表面相度区分）			
共	○電線本数、管路等	分電盤、制御盤、端子盤等の2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径等は監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。			
	○耐震施工	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針（独立行政法人建築研究所監修）2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。 （1）設計用水平地震力 (2.1.1.13)<2.2.1.14> 機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合は、設計用標準水平震度は、次による。 設計用標準水平震度			
	○機器種別	〇特定の施設 重要機器 一般機器 ※一般の施設 重要機器 一般機器			
	○上層階・屋上及び塔屋	機器 2.0 1.5 1.5 1.0 防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5 水槽類 2.0 1.5 1.5 1.0			
通	○中間階	機器 1.5 1.0 1.0 0.6 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6			
	○地階・1階	機器 1.0 0.6 0.6 0.4 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6 水槽類 1.5 1.0 1.0 0.6			
	【備考】・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの ・水槽類に燃料小出槽を含む。				
	重要機器は、次のものを示す。 ○配電盤 ○発電装置（防災用） ○直流電源装置 ○交流無停電電源装置 ○交換機 ○自動火災報知受信機 ○中央監視制御装置 ○				
事	○設計用鉛直地震力	設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。			
	○水平配管、垂直配管の耐震支持については標準仕様書によるものとし、特定の施設、一般の施設の区分については（1）による。				
	○建物引込部の耐震処置を行う配管及び建物エキスパンションジョイント部の配線は別図による。（図面番号）				
	○盤その他機器類について図示した寸法は、約寸法とする。建築意匠見合いとなる部分については監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。				
項	○圧着端子	丸型とする。			
	○呼び線	長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 <2.2.1.15> ○長さ1m以上の配線引抜き後の空配管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。			
	○フラッシュプレート	○金属製（ステンレス、新金属も含む） ●樹脂製			
	○フロアプレートベース	水平高低調整式（空転防止付リング付、OAフロア部分を除く） ○砲金製 ○アルミ製			
電	○盤類等	盤類等の仕様は機器表による他、次による。 ●盤内配線は原則としてエコ電線とする。（消防法上はHIV） ●工事番号・工事名称・施工年月・受注者・施工者（受注者と同一でない場合）を銘板等で表示する。 ○図示した寸法は、約寸法とする。建築意匠見合いとなる部分については監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 ○機器の取替及び改造を行った場合、取替日、受注者名、施工者名、能力及び回路名称等を記した銘板を取付ける。			
	○屋外形ブルボックス等	屋外形のブルボックス及び屋外に使用する配管支持金物等の雑材料は、SUS製又は溶融亜鉛めっき（JIS H 8641に規定するHDZ35相当）とする。 なお、蓋用のネジは屋内外とも六角プラスビスとする。			
	○天井点検口等	天井点検口の裏側に用途名称を付す。			
	○配線	電動機への配線のうち、電動機端子箱に直接接続する部分には、金属製可とう電線管を用意するほか、標準図第2編「電力設備工事」による。ただし、電動機が端子箱を有していない場合又は電動機の設置場所が二重天井内の場合は、この限りでない。（図面番号）			
電	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ●取り外し再取付			
	○LED照明器具の規格	LED照明器具の定格消費電力等が標準図とJILで異なる場合、JILの規定を適用する。			
	○照明制御装置	調光下限値、感知時間等システム設定は監督職員の指示による。 ○個別照明制御 センサー設定器を 個付属すること ○統合照明制御 仕様は別図による（図面番号） (2.1.6.3)			
	○防水試験	防漏及び防湿型の照明器具は防水試験を行う。			
灯	○照度測定	一般照明の照度測定を行う。 測定結果はJIS Z 9110およびJIS Z 9127の推奨照度の照度範囲内であることを確認する。 照明の改修時は照度及び回路電流値の測定を行う。(2.2.18.2) <2.2.1.1> <2.2.19.2>			
	○傾斜天井	※傾斜天井対応の器具を使用する。 ○別途工事により対応する。			
	○非常用照明	○電源内蔵形○電源別置形 非常用照明は、床面において水平面照度で2lx以上を確保する。			
	○フロアコンセント	○引き出し形 ○飛び出し形 ○内部固定形 ○外部固定形 ○OAフロア用			
設	○スイッチ	大角ネーム付とする。換気扇用スイッチは確認表示灯付とする。			
	○コンセント	コンセントプレートの指定箇所に回路名称(回路番号)を付す。			
	○分電盤・○A盤・実験盤	仕様は別図による（図面番号） SPD ○設置する ○設置しない			
	○総合動作試験	※実施しない ○実施する <2.2.19.2>			
動	●工事範囲	●配管 ●配線 ●機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○監視方法	○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視 仕様は別図による（図面番号）			
	●分電盤・制御盤・手元開閉器箱	SPD ○設置する ○設置しない 単位ユニットの電流計はコンデンサよりも負荷側に接続する。 自動連動回路は、試験運転にした場合連動しないものとする。			
	○インターロック	火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して空調機を停止させる。			
力	○制御盤の散水試験	散水試験を行う。試験回数 ○全数 ○全体の（ ）%			
	○電動機への接続	配線用支持架台 ※設ける ○設けない (2.2.15.1)<2.2.16.1>			
	●総合動作試験	※実施しない ●実施する			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
雷	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○適用JIS	○JIS A 4201-2003 ○JIS A 4201-1997			
	○雷保護	○外部雷保護 ○内部雷保護			
	○雷保護レベル	○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ ○Ⅳ			
保	○接地	○A型接地極（板状接地極、垂直接地極及び放射状接地極） ○B型接地極（環状接地極及び網状接地極） ○構造体利用接地極（大地抵抗率測定用接地補助極を構造体下部に設ける。） ○雷保護設備において内部雷保護の等電位ボンディングを行う場合のC 種又はD種接地 工事の接地線の太さは8mm2 以上とする。 ○電圧降下法による接地抵抗測定を行う。 (2.2.18.2) (2.2.13.2) (2.2.13.9)<2.2.19.2><2.2.14.4><2.2.14.9>			
	○鋼製突針支持管	○一段目の長さは ※400mm以上 ○ mm以上			
	○鉄骨及び鉄筋との接続	※圧着、ねじ締め、ボルト締め ○溶接 (2.2.17.3)<2.2.18.3>			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
受	○受電電圧	※高圧受電(6.6kV) ○特別高圧受電(kV)			
	○配電盤形式	○キュービクル式配電盤 (3.1.1.3) (3.1.1.5) (3.1.1.6) (OPF・S形(変圧器容量300kVA未満) ○CB形) (図面番号) ○高圧スイッチギヤ (図面番号)			
	○認定キュービクル	消防法に基づく登録認定機関による「キュービクル式非常電源専用受電設備」の認定を受けたものを使用する。			
	○設備容量	○変圧器総容量 kVA ○高圧電動機総容量 kW			
電	○変圧器	「トップランナー変圧器2014」適用品を使用すること。 絶縁方式 ※油入 ○モールド付属品 ○防振ゴム ○ダイヤル温度計 ○移動車輪			
	○進相コンデンサ	○高圧側設置 ○低圧側設置 ○APFC(自動力率調整器) ※設ける ○設けない 絶縁方式 ○油入 ○乾式（○モールド ○ガス入り）			
	○直列リアクトル	※6% ○13% 絶縁方式 ○油入 ○モールド			
	○高圧負荷開閉器	※手動操作式 ○電動式			
変	○絶縁監視装置	仕様は別図による（図面番号） (3.1.8.3) (3.1.8.5) ○高圧用 ○低圧用			
	○基礎	※本工事(図面番号) ○既設 ○別途工事()			
	○接地の共用	A種接地、C種接地及びD種接地の接地極は共用し、接地抵抗値は10Ω以下とする。			
	○その他	○屋外キュービクルのネットフェンス ※本工事 ○別途工事 ○停電作業に伴い、電気主任技術者を立ち会わせること。			
電	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○工事種類	○直流電源装置 ○交流無停電装置 ○簡易形交流無停電装置 ○電力平準化用蓄電装置 ○分散型エネルギーマネジメントシステム			
	○機器の仕様	○機器の仕様は、別図による。（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
発	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
電	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
設	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
備	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
電	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
力	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○監視方法	○警報盤による代表監視 ○中央監視制御装置による監視 仕様は別図による（図面番号）			
	●分電盤・制御盤・手元開閉器箱	SPD ○設置する ○設置しない 単位ユニットの電流計はコンデンサよりも負荷側に接続する。 自動連動回路は、試験運転にした場合連動しないものとする。			
	○インターロック	火災報知設備の受信機、連動制御器及びガス漏れ火災警報受信機と連動して空調機を停止させる。			
雷	○制御盤の散水試験	散水試験を行う。試験回数 ○全数 ○全体の（ ）%			
	○電動機への接続	配線用支持架台 ※設ける ○設けない (2.2.15.1)<2.2.16.1>			
	●総合動作試験	※実施しない ●実施する			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
保	○適用JIS	○JIS A 4201-2003 ○JIS A 4201-1997			
	○雷保護	○外部雷保護 ○内部雷保護			
	○雷保護レベル	○Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ ○Ⅳ			
	○接地	○A型接地極（板状接地極、垂直接地極及び放射状接地極） ○B型接地極（環状接地極及び網状接地極） ○構造体利用接地極（大地抵抗率測定用接地補助極を構造体下部に設ける。） ○雷保護設備において内部雷保護の等電位ボンディングを行う場合のC 種又はD種接地 工事の接地線の太さは8mm2 以上とする。 ○電圧降下法による接地抵抗測定を行う。 (2.2.18.2) (2.2.13.2) (2.2.13.9)<2.2.19.2><2.2.14.4><2.2.14.9>			
受	○鋼製突針支持管	○一段目の長さは ※400mm以上 ○ mm以上			
	○鉄骨及び鉄筋との接続	※圧着、ねじ締め、ボルト締め ○溶接 (2.2.17.3)<2.2.18.3>			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○受電電圧	※高圧受電(6.6kV) ○特別高圧受電(kV)			
変	○配電盤形式	○キュービクル式配電盤 (3.1.1.3) (3.1.1.5) (3.1.1.6) (OPF・S形(変圧器容量300kVA未満) ○CB形) (図面番号) ○高圧スイッチギヤ (図面番号)			
	○認定キュービクル	消防法に基づく登録認定機関による「キュービクル式非常電源専用受電設備」の認定を受けたものを使用する。			
	○設備容量	○変圧器総容量 kVA ○高圧電動機総容量 kW			
	○変圧器	「トップランナー変圧器2014」適用品を使用すること。 絶縁方式 ※油入 ○モールド付属品 ○防振ゴム ○ダイヤル温度計 ○移動車輪			
電	○進相コンデンサ	○高圧側設置 ○低圧側設置 ○APFC(自動力率調整器) ※設ける ○設けない 絶縁方式 ○油入 ○乾式（○モールド ○ガス入り）			
	○直列リアクトル	※6% ○13% 絶縁方式 ○油入 ○モールド			
	○高圧負荷開閉器	※手動操作式 ○電動式			
	○絶縁監視装置	仕様は別図による（図面番号） (3.1.8.3) (3.1.8.5) ○高圧用 ○低圧用			
基礎	○基礎	※本工事(図面番号) ○既設 ○別途工事()			
	○接地の共用	A種接地、C種接地及びD種接地の接地極は共用し、接地抵抗値は10Ω以下とする。			
	○その他	○屋外キュービクルのネットフェンス ※本工事 ○別途工事 ○停電作業に伴い、電気主任技術者を立ち会わせること。			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
工事種類	○工事種類	○直流電源装置 ○交流無停電装置 ○簡易形交流無停電装置 ○電力平準化用蓄電装置 ○分散型エネルギーマネジメントシステム			
	○機器の仕様	○機器の仕様は、別図による。（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
ディーゼルエンジン発電装置	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
基礎	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
太陽光発電装置	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
電力平準化用蓄電装置	○電力平準化用蓄電装置	○分散型エネルギーマネジメントシステム			
	○機器の仕様	○機器の仕様は、別図による。（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
分散型エネルギーマネジメントシステム	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
基礎	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
分散型エネルギーマネジメントシステム	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
電力平準化用蓄電装置	○電力平準化用蓄電装置	○分散型エネルギーマネジメントシステム			
	○機器の仕様	○機器の仕様は、別図による。（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
分散型エネルギーマネジメントシステム	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
基礎	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
分散型エネルギーマネジメントシステム	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
電力平準化用蓄電装置	○電力平準化用蓄電装置	○分散型エネルギーマネジメントシステム			
	○機器の仕様	○機器の仕様は、別図による。（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
分散型エネルギーマネジメントシステム	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
基礎	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
分散型エネルギーマネジメントシステム	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
電力平準化用蓄電装置	○電力平準化用蓄電装置	○分散型エネルギーマネジメントシステム			
	○機器の仕様	○機器の仕様は、別図による。（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
分散型エネルギーマネジメントシステム	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
基礎	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
	○工事範囲	○配管 ○配線 ○機器取付 ○機器移設 ○取り外し再取付			
	○用途	○非常用発電設備 (5.1.1.1)<5.1.1.4> ○常用発電設備 (※系統連系型 ○独立型) (5.1.4.1) (5.1.5.1)<5.1.7.1> (5.1.8.1)			
	○ディーゼルエンジン発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） (5.1.1.1) (5.1.1.4)			
分散型エネルギーマネジメントシステム	○太陽光発電装置	○装置の仕様は別図による（図面番号） ○PV直流用SPD ※設ける ○設けない (5.1.7.1)			
	○その他の発電装置	○発電装置の種類() ○装置の仕様は別図による（図面番号）			
	○現地負荷試験	現地負荷試験は監督員の指示による (5.1.10.1)			
	○基礎	※本工事 ○既設利用 ○別途工事（図面番号）			
電力平準化用蓄電装置	○電力平準化用蓄電装置	○分散型エネルギーマネジメントシステム			
	○機器の仕様	○機器の仕様は、			

		令和4年版 Ver. 1.0									
機内機器	通信機器設備	工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設 取り外し再取り付け	構内配電線路	高圧引込用気中負荷開閉器	用途	架空引込用(PAS) 地中引込用(UAS)	環境配慮処理工事	石綿含有成形板等の除去及び処分	除去する石綿含有成形板の飛散防止措置	[1.3.12] [9.1.5]
	交換設備	工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設 取り外し再取り付け		構造	鋼板製 ステンレス鋼板製	※湿润化 除去工法 ※手ばらし ※けい酸カルシウム板第一種においては、作業場の隔離養生を行う。 保管場所（ 除去した石綿含有成形板等の処分(石綿含有せつこうボードを除く) 埋立処分 中間処理				
情報表示装置		工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設・改設 取り外し再取り付け		自立開閉器 基礎	※本工事 既設 別途工事			手続き等	所轄の労働基準監督署及び奈良県景観・環境総合センター(奈良市内においては奈良市保健・環境検査課)に必要な書類の届出を行うこと。また、その内容を周辺住民の見やすい場所に掲示すること。	[1.1.3] [9.1.2]
		マルチサイン	別図による(図面番号)		マンホール及びハンドホール	構造、寸法は ※標準図による。 別図による。(図面番号)	蓋の用途表示は 奈良県高圧 奈良県電気 とする。		除去後の仕上げ	仕上げ表による。(図面番号)	[9.1.1]
		出退表示設備	別図による(図面番号)			ケーブルが直接接触しない場合の金物は接地を省略しても良い。			石綿含有建材リスト	〇 () _ 〇 () _ 〇 () _ 〇 () _	
		時刻表示装置	親時計は、時刻補正機能を有するものと七、時刻補正の方式は、別図による(図面番号)			ケーブル支持材 ※設ける					
検査設備	音響設備	工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設・改設 取り外し再取り付け	構内通信線路	余長	高圧ケーブルは、マンホール、ハンドホールまたはキュービクル内等の1ヶ所で約3mの余長をとる。	屋外で高圧ケーブル相互の接続または端末処理を行う場合は、被覆の伸縮対策を施す。				
		機器仕様	別図による(図面番号)			高圧ケーブル、がいし、端末処理					
拡声設備	誘導支援設備	工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設・改設 取り外し再取り付け	環境配慮処理工事	外灯	用途	一般用 景観照明用				
		機器仕様	別図による(図面番号)			基礎	※本工事(図面番号) 既設 別途工事 ()				
テレビ受信機	設備防犯設備	工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設・改設 取り外し再取り付け	環境配慮処理工事	一般事項	照明用ポール	表面仕上げ 溶融亜鉛めっき 塗装 標準色 指定色 接地 各ポール毎に接地を施す 開閉器 配線用遮断器(引き外し装置なし)				
		工事種類	非常放送設備 一般放送設備								
監視カメラ設備	防犯設備	放送設備の兼用	非常放送設備を一般放送設備と兼用する。	環境配慮処理工事	特別管理	〇工事範囲	配管 配線 機器取付 機器移設 取り外し再取付				
		通信用SPD	〇設置する(カテゴリOC2 OD1) 〇設置しない			〇ふ設方法	〇地中埋設式 〇架空線式				
監視カメラ設備	防犯設備	工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設・改設 取り外し再取り付け	環境配慮処理工事	〇マンホール及びハンドホール	構造、寸法は ※標準図による。 別図による。(図面番号)	蓋の用途表示は 奈良県通信 とする。				
		音声誘導装置	別図による(図面番号)			〇石綿作業主任者	適用する	[9.1.2]			
監視カメラ設備	防犯設備	インターホン	別図による(図面番号 E-03)	環境配慮処理工事	〇特別管理産業廃棄物管理責任者	適用する	[9.1.2]				
		トイレ等呼出装置	別図による(図面番号)			〇施工計画調査	特別管理産業廃棄物等の調査は次による(適用範囲:)				
監視カメラ設備	防犯設備	受付呼出装置	別図による(図面番号)	環境配慮処理工事	〇分析調査	微量PCBの測定を行う。(対象機器:)	[5.1.2]				
		工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設・改設 取り外し再取り付け			〇特別管理産業廃棄物の処理等	〇特別管理産業廃棄物	[5.4.1]			
監視カメラ設備	防犯設備	屋外形機器収納箱	〇合成樹脂製 〇アルミダイキャスト製 〇鋳鉄製 〇鋼板製	環境配慮処理工事	〇特別管理産業廃棄物の処理等	種 類	処 理 方 法				
		事前調査	調査箇所数 箇所 建物建築前に路上で端子電圧、振幅周波数特性、等価C/N値、ビット誤り率、受像画質を測定及び調査する。 (調査チャンネルは別図による(図面番号))			〇廃石綿等	石綿含有建材の除去等による				
監視カメラ設備	防犯設備	工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設・改設 取り外し再取り付け	環境配慮処理工事	〇機器仕様	別図による(図面番号)					
		通信用SPD	〇設置する(カテゴリOC2 OD1) 〇設置しない			〇PCBを含む機器類	保管(保管場所:) 保管容器は別図による。(図面番号)				
監視カメラ設備	防犯設備	工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設・改設 取り外し再取り付け	環境配慮処理工事	〇機器仕様	別図による(図面番号)					
		工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設・改設 取り外し再取り付け			〇PCB含有シーリング	保管(保管場所:)				
監視カメラ設備	防犯設備	防犯設備	別図による(図面番号)	環境配慮処理工事	〇廃油	〇中間処理施設再生処理 〇焼却処分					
		〇防犯設備	別図による(図面番号)			〇廃酸/廃アルカリ	製造業者又は専門業者(回収委託) 〇中間処理施設再生処理 〇中和処理 〇焼却処分				
監視カメラ設備	防犯設備	〇入退室管理制御装置	別図による(図面番号)	環境配慮処理工事	〇特殊な建設副産物の回収及び処理	[7.3.1]					
		〇ガス漏れ火災警報設備	別図による(図面番号)			種 類	処 理 等				
監視カメラ設備	防犯設備	〇通信用SPD	〇設置する(カテゴリOC2 OD1) 〇設置しない	環境配慮処理工事	〇フロコン類	登録回収業者(回収委託)					
		〇R型及び自動試験機能付きのP型受信機	〇感知器等の増設や変更に伴う設定は別図による(図面番号)			〇ハロン	設備設置業者等(処理委託)				
監視カメラ設備	防犯設備	〇地区警報装置	別図による(図面番号)	環境配慮処理工事	〇イオン化式感知器	製造業者等(処理委託)					
		〇自動閉鎖装置	別図による(図面番号)			〇六フッ化硫黄(SF6)ガス	製造業者(処理委託)				
監視カメラ設備	防犯設備	〇非常警報装置	別図による(図面番号)	環境配慮処理工事	〇特定化学物質	処理業者(処理委託)					
		〇ガス漏れ火災警報設備	別図による(図面番号)								
監視カメラ設備	防犯設備	〇監視制御装置	別図による(図面番号)	環境配慮処理工事	〇特別管理産業廃棄物等リスト	別図による。(図面番号)					
		〇通信用SPD	〇設置する(カテゴリOC2 OD1) 〇設置しない			〇石綿含有建材の調査	施工調査(石綿含有建材の有無)は監督員、工事監理者、受注者立会のもと行う。 目視及び設計図書等による製造年等の確認	[1.5.1]			
監視カメラ設備	防犯設備	〇工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設・改設 取り外し再取り付け	環境配慮処理工事	〇石綿含有建材の分析調査	分析方法 〇JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有測定方法」による ※「建材中の石綿含有率の分析方法」(平成18年8月21日基発第0821002号、基安化発第0821001号及び平成20年2月6日基安化発第0206003号)による。 分析結果報告書を提出する。	[1.5.1]				
		〇簡易型監視制御装置	別図による(図面番号)			〇石綿含有保温材等の除去及び処分	除去工法 〇手ばらし 〇破砕して除去 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※湿润化 〇固形化 保管場所 () 除去した石綿含有保温材等の処分 〇埋立処分(管理型最終処分場) 〇中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)	[9.1.3] [9.1.4]			
監視カメラ設備	防犯設備	〇監視制御装置	別図による(図面番号)	環境配慮処理工事	〇石綿含有保温材等の除去及び処分	除去工法 〇手ばらし 〇破砕して除去 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※湿润化 〇固形化 保管場所 () 除去した石綿含有保温材等の処分 〇埋立処分(管理型最終処分場) 〇中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)	[9.1.3] [9.1.4]				
		〇通信用SPD	〇設置する(カテゴリOC2 OD1) 〇設置しない								
監視カメラ設備	防犯設備	〇工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設・改設 取り外し再取り付け	環境配慮処理工事	〇工事範囲	配管 配線 機器取り付け 機器移設・改設 取り外し再取り付け					
		〇ふ設方法	〇地中埋設式 〇架空線式 埋設深さ 図面に記載なき場合は、GL(舗装がある場合は、舗装下面)-600mm以下とする。								
天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事				竣工年月日	2024-11	図 面 名 称		電気設備 特記仕様書-3	縮 尺	図 番	
										奈良文庫電気設備株式会社	
										E-03	

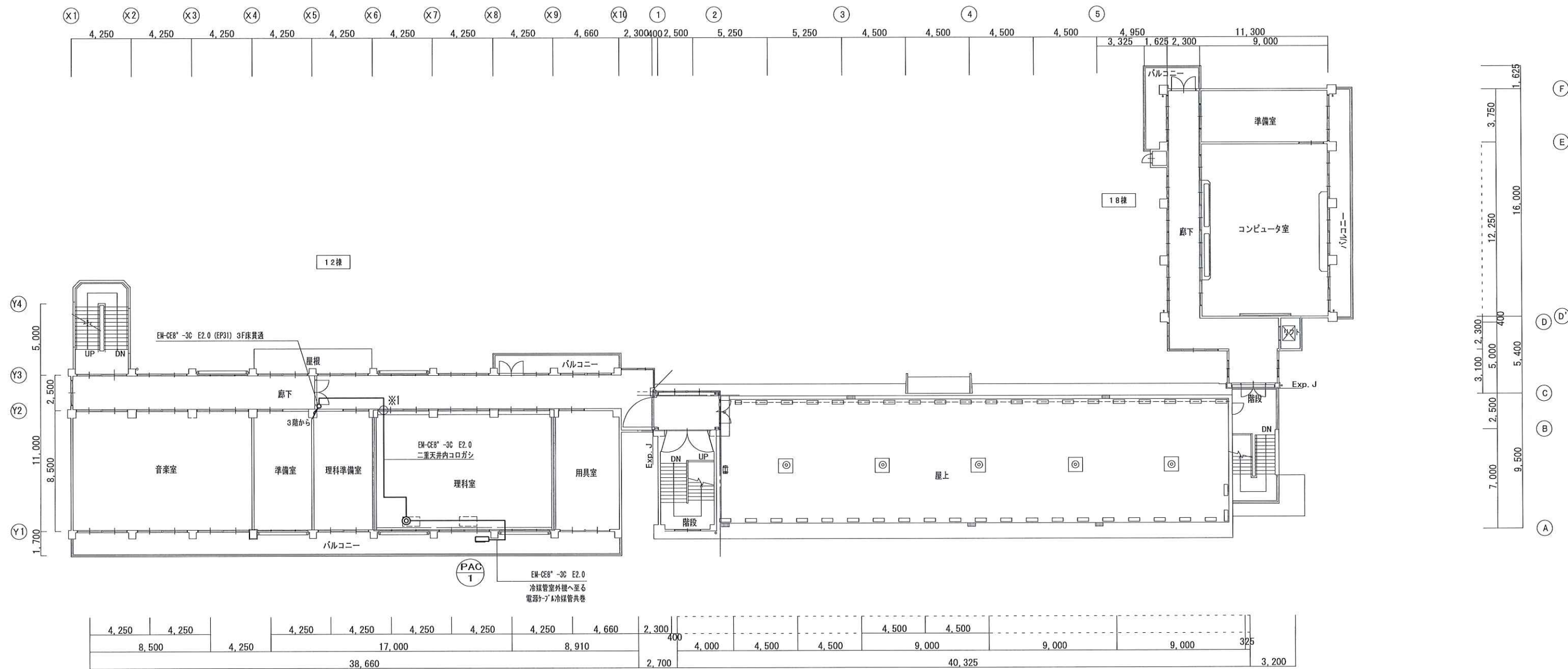
動力制御盤														警報盤					配管配線サイズ	備考
盤名称 形式	幹線 記号	幹線主幹 分岐系統	動力 記号	負 荷 名 称	消費電力 kW	主回路 記号	操作 回路 記号	起動 方式	開閉器容量	電流計	コンデンサ	操作 発停	表 示 状態 故障 警報	操作	表 示 状態 故障 警報	計量	火災 停止			
M-2A (6-2棟) SUS製 屋外 壁掛型	60° 3φ3W 210V 38°																			
			1	空調室外機 PAC-2 2階 普通教室	4.22	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE5.5° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			2	空調室外機 PAC-2 2階 生活科室	4.22	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE5.5° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			3	空調室外機 PAC-2 2階 普通教室	4.22	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE8° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			4	空調室外機 PAC-2 2階 家庭科室	6.74	直入	—	—	ELCB 3P 50/40										EM-CE8° -3C E2.0 (GP28) (EP31)	
合計 19.40 kW																				
M-3A (6-2棟) SUS製 屋外 壁掛型	38° 3φ3W 210V																			
			1	空調室外機 PAC-2 3階 普通教室	4.22	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE5.5° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			2	空調室外機 PAC-2 3階 普通教室	4.22	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE5.5° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			3	空調室外機 PAC-2 3階 普通教室	4.22	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE8° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			4	空調室外機 PAC-3 3階 図工室	6.74	直入	—	—	ELCB 3P 50/40										EM-CE8° -3C E2.0 (GP28) (EP31)	
合計 19.4 kW																				
M-2B (12棟) 銅板製 屋内 壁掛型	100° 3φ3W 210V 38°																			
			1	空調室外機 PAC-1 2階 普通教室	5.38	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE8° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			2	空調室外機 PAC-1 2階 普通教室	5.38	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE5.5° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			3	空調室外機 PAC-1 2階 普通教室	5.38	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE5.5° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			4	空調室外機 PAC-1 2階 普通教室	5.38	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE8° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
合計 21.52 kW																				
M-3B (12棟) 銅板製 屋内 壁掛型	60° 3φ3W 210V																			
			1	空調室外機 PAC-1 3階 普通教室	5.38	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE8° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			2	空調室外機 PAC-1 3階 普通教室	5.38	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE5.5° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			3	空調室外機 PAC-1 3階 多目的室	5.38	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE5.5° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			4	空調室外機 PAC-1 3階 普通教室	5.38	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE8° -3C E2.0 (GP28) (F2,30)	
			5	空調室外機 PAC-外 4階 音楽教室	3.3	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE5.5° -3C E2.0 (GP28)	
			6	空調室外機 PAC-外 4階 音楽教室	3.3	直入	—	—	ELCB 3P 50/30										EM-CE5.5° -3C E2.0 (GP28)	
			7	空調室外機 PAC-1 4階 理科室	6.74	直入	—	—	ELCB 3P 50/40										EM-CE8° -3C E2.0 (GP28) (EP31)	
合計 34.86 kW																				



天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図 面 名 称	縮 尺	奈良文庫電気設備株式会社	図 番
	2024-11	電気設備 1 階平面図	1/200		E-05

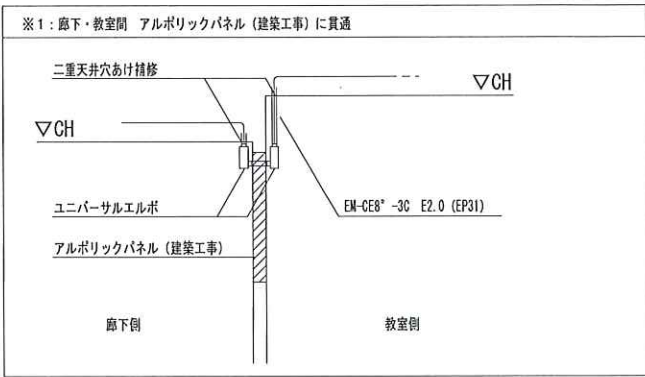


天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図面名称	縮尺	奈良文庫電気設備株式会社	図番
	2024-11	電気設備2階平面図	1/200		E-06



PAC
1

EM-CE8* -3C E2.0
冷暖管室外機へ至る
電源ケーブル/冷暖管共巻



天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図 面 名 称	縮 尺	奈良文庫電気設備株式会社	図 番
	2024-11	電気設備 4階平面図	1/200		E-08

機械設備工事特記仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所

奈良県天理市柳本町1213番地

2. 建物概要

建物名	構造	階数	延面積 (m2)	消防法令別表第7項	耐震安全性の分類	備考
小学校	RC	4	—	7項	—	

3. 工事種目

●印をつけたものを適用し、各一式とする。

工事項目／棟別及び屋外	屋内					屋外
空調設備	●	○	○	○	○	●
換気設備	○	○	○	○	○	○
排煙設備	○	○	○	○	○	○
自動制御設備	○	○	○	○	○	○
衛生器具設備	○	○	○	○	○	○
給水設備	○	○	○	○	○	○
排水設備	○	○	○	○	○	○
給湯設備	○	○	○	○	○	○
消火設備	○	○	○	○	○	○
厨房機器設備	○	○	○	○	○	○
ガス設備	○	○	○	○	○	○
さく井設備	○	○	○	○	○	○
浄化槽設備	○	○	○	○	○	○
機械式駐車設備	○	○	○	○	○	○
井水揚水設備	○	○	○	○	○	○
撤去工事	○	○	○	○	○	○
環境配慮改修工事	○	○	○	○	○	○
建築工事	○	○	○	○	○	○
電気設備工事	○	○	○	○	○	○

Ⅱ. 機械設備工事仕様

1. 共通仕様

1) 本仕様書及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の仕様書等による。

- 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和4年版)(以下「改修標準仕様書」という。)
- 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)(以下「建築改修標準仕様書」という。)
- 公共建築設備工事標準図(機械工事編)(令和4年版)(以下「標準図」という。)
- 建築物解体工事共通仕様書・同解説(令和4年版)(以下「解体共通仕様書」という。)

2) 工事種目に電気設備工事及び建築工事を含む場合は、その仕様は当該図面による。

2. 特記仕様

1) 項目及び特記事項は、※印または●印を適用とし、●印を優先とする。

2) 特記事項に記載の() 内表示番号、< >内表示番号、【 】内表示番号及び[] 内表示番号について、それぞれ標準仕様書、改修標準仕様書、建築改修標準仕様書及び解体工事共通仕様書の編・章・節・項を示す。

章	項	目	特記事項
一般	●適用基準等	県土マネジメント部建築工事監督及び検査必携 奈良県県土マネジメント部 建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集 奈良県県土マネジメント部	
	●設計図書の優先順位	(1) 質問回答書(以下(2)から(5)に対するもの) (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 標準仕様書・改修標準仕様書 以上(1)から(5)の順番のとおりとする。(1.1.1.1)<1.1.1.1> ただし、明示なき材料、仕上げ等については、監督職員の指示による。	
	●官公署その他への届出手続等	工事関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続き等は全て受注者が行うこと。 この場合、「建築及び設備工事監督・検査事務処理様式集(奈良県県土マネジメント部)」の書式に従い、日程管理を行う。(1.1.1.3)<1.1.1.3>	
	●工事実績情報の登録※行う(適用する) ○行わない	(1.1.1.4)<1.1.1.4>	
	●情報通信の技術の利用	図面により行う(補完的に電子メール等を活用できる)。(1.1.1.5)<1.1.1.5>	
	○他工事との取合い	別記工事区分表による。(1.1.1.7)<1.1.1.7>	
	●疑義に対する協議等	設計図書に定められた内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり取り合い等の関係で設計図書によることが困難若しくは不都合な場合が生じた時は、監督職員と協議する。(1.1.1.8)<1.1.1.8>	
	●概成工期	現場説明書による。	
	●実施工程表	工事の着手に先立ち、実施工程表を作成し、監督職員の承諾を受ける。 実施工程表を変更が生じた場合は、施工に支障が無いよう実施工程表を直ちに変更し、当該部分の施工に先立ち、監督職員の承諾を受ける。(1.1.2.1)<1.1.2.1>	
	事項	●施工計画書	(1) 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書(総合施工計画書)を作成し、監督職員に提出する。 (2) 品質計画、施工の具体的な計画並びに一工程の施工の確認内容及びその確認を行う段階を定めた施工計画書(工程別施工計画書)を、工事の施工に先立ち作成し、監督職員に提出する。 (3) (1)、(2)の施工計画書のうち、品質計画に係る部分については、監督員の承諾を受ける。また、品質計画に係る部分について変更が生じる場合は、監督職員の承諾を受ける。(1.1.2.2)<1.1.2.2>
●施工条件		現場説明書による。(1.1.3.3)<1.1.3.3>	
○電気保安技術者		標準仕様書又は改修標準仕様書に規定する電気保安技術者をおくものとする。 電気保安技術者は、(事業用電気工作物に係る工事の場合、電気事業法に基づく電気主任技術者の業務を補佐すると共に)、監督職員の指示に従い、当該現場における電気工作物の保安業務を行うものとする。(1.1.3.2)<1.1.3.2>	

●工事用電力設備の保安責任者

工事用電力設備の保安責任者として、法令に基づく有資格者を定め監督職員に報告する。
保安責任者は適切な保安業務を行うものとする。【1.1.3.4】

●施工中の安全確保

工事現場周辺の状況を調査判断し、本工事施工によって生じる騒音、振動、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないように、周辺環境の保全に努める。工事に関して、第三者から説明の要求又は苦情があった場合は、受注者の責任において直ちに誠意をもって対応する。(1.1.3.5)<1.1.3.5>

●交通安全管理

工事期間中道路面には、一切車両を駐車しないようにすると共に、工事関係車両の出入りについては、必ず誘導員又は交通整理員を立て、交通渋滞、住民等の安全に留意すること。また、工事着手前に警察、その他関係機関、地元自治会、監督職員などと十分打ち合わせのうえ、安全管理を行う。(1.1.3.6)<1.1.3.7>

●災害等発生時の安全確保

災害及び事故が発生した場合は、人命の安全確保を優先するとともに、二次災害の防止に努め、その経緯を監督職員に報告する。(1.1.3.7)<1.1.3.8>

●施工中の環境保全等

関係法令に従い、工事の施工の各段階において、騒音、振動、粉塵、臭気、大気汚染、水質汚濁等の影響が生じないように、周辺環境の保全に努める。塗料、その他の化学製品の取扱いに当たっては、当該製品の製造者が作成したJIS Z 7253を常備し、記載内容の周知徹底を図り、作業者の健康、安全の確保及び環境保全に努める。建設事業及び建設業のイメージアップのために、作業環境の改善、作業現場の美化等に努める。(1.1.3.8)<1.1.3.9>

●図面照査

設計図書の照査及び現場調査を行い、報告すること。

●施工調査

(1) 工事の着手に先立ち、施工調査を行い、報告書を提出すること。施工調査の内容は次による。
調査項目 改修対象建物及び同建物内設備配管・ダクト等・屋外埋設配管等埋設物
調査範囲 本工事と取り合いのある範囲及び本工事の施工により影響が及ぶ範囲
調査方法 スケール・レベル・目視による他、監督職員との協議による
(2) 次の関係者と当該工事に必要な事前打合せを行う。
●施設管理者 ○当該施設の電気主任技術者 ●関係官公署(建築主事、消防署等)
○電気事業者 ○() <1.1.5.1><1.1.5.3><2.2.7.1><2.2.8.1><2.2.8.2>

○地中埋設物等

標準仕様書又は改修標準仕様書によるほか、下記による。 <2.4.1.1><2.4.1.2><2.5.2.1>
施工前に、当該工事にかかわる地中埋設物等(建物内又は既設コンクリート内の既設配管配線を含む)について事前調査を行い、報告書を提出すること。既設構造物の位置及び既設埋設配管の経路等が不明な場合は、探査方法及び試験堀方法を監督職員と協議する。

○発生材の処理等

○再資源化を図るもの(1.1.3.9)<1.4.1.1><1.5.1.1><1.5.1.2>
○コンクリート塊 ○アスファルトコンクリート塊 ○コンクリート2次製品 ○建設発生木材
○再生資源利用〔促進〕計画〔実施〕書を提出する。
(建設副産物対策近畿地方連絡協議会編)
○産業廃棄物の処理
関係法令に従い、構外搬出適切処理とし搬出書類等提出する。なお、県内の最終処分場に搬入することとなる場合は、奈良県産業廃棄物税条例相当額を支払うこと。
○産業廃棄物管理票(マニフェスト)の写しを提出する。
○引き渡しを要するもの(○ユニット形エアコン ○)
○現場において再利用を図るもの()

●機材の品質等

別記(設備機材)に掲げる設備機材は、(一社)公共建築協会発行「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」に記載されたもの(ただし、評価の有効期限内のものに限る)を使用する。この場合、評価書の写しをもって、標準仕様書第1編1.4.2(3)の品質及び性能を有することの証明となる資料(製作図、試験成績書等は除く)に替える。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。(1.1.4.2)<1.1.4.2>
本工事に使用する設備機材等のうち、設備機材等指定表等により特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものを使用する。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

●建築材料・設備機器

建物内部(天井裏、床下、P.S.E.P.S.D.S等を含む)及びダクト等の内部に使用する。
下記に掲げる各材料・機材等は、それぞれに定められた基準等に適合するものを選定する。

材料等	基準等
①接着剤	次の1、2及び3を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが放散しないか、放散が極めて少ないものであること。 3 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものであること。なお、接着剤は可塑剤が添加されていない材料を使用する。(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものは除く)
②保温材 緩衝材 断熱材	次の1、2を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが放散しないか、放散が極めて少ないものであること。(2.3.1.2)
③塗料	次の1、2及び3を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが放散しないか、放散が極めて少ないものであること。 3 トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないものであること。
④設備機器	製品を構成する建築材料は、次の1及び2を満足するものとする。 1 ホルムアルデヒド放散等級がF☆☆☆☆の規格に適合しているものであること。 2 アセトアルデヒド及びスチレンが放散しないか、放散が極めて少ないものであること。(1.1.4.1)<1.1.4.1>

なお、F☆☆☆☆の規格に適合するものと規定された材料等で、F☆☆☆☆に適合する材料等がない場合は、監督員と協議を行うこと。

○県産材木材の利用

県産材木材(奈良県内において伐採・生産された原木を製材加工した製品)の利用に努めること。

○建築物省エネ法対象機器

本工事は、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律(平成27年法律第53条)第13条第2項に規定する建築物エネルギー消費性能確保計画の通知を行っている。通知の詳細は監督員に確認すること。
対象設備 ○空調熱源設備 ○空調外気処理設備
○換気設備 ○給湯設備
機器の消費電力、燃料消費量は、原則として表示された数値以下とする。

○機材の検査に伴う試験

機材の品質及び性能を試験により証明する場合は、試験に先立ち試験計画書を作成のうえ、監督職員に提出し、原則として監督職員の立ち会いを受けて行う。
ただし、監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。(1.1.4.6)<1.1.4.6>

○色彩による表示、標識その他

監督職員の指示による。(1.1.4.2)<1.1.7.4><1.1.4.2><1.1.8.5>

●機器及び配管の文字書き

屋外の文字書きは、*カテイング*シートや調合ペイント等耐久性のあるもので記入する。

○技能士

適用する資格は下記による。(1.1.5.2)<1.1.6.2>
○1級配管技能士(配管工事)
○1級熱絶縁施工技能士(保温工事)
○1級建築板金技能士(ダクト製作及び取付)
○1級冷凍空調調和機器施工技能士(フリッジユニット、パナセージ形空調調和機の据付及び整備)

○見本施工の実施

図示による。(図面番号) (1.1.5.4)<1.1.6.5>

○化学物質の濃度測定

実施する(※施工完了後 ○着工前・施工完了後)
測定対象化学物質 *ホルムアルデヒド*、*トルエン*、*キシレン*、*エチルベンゼン*、*スチレン*
測定対象室及び測定箇所数

室名						
箇所数						

測定方法は監督職員の指示による。

○中間技術検査の実施

県土マネジメント部の監督及び検査の実施に関する取り扱い要領により中間技術検査を行う。(1.1.6.2)<1.1.7.2>

●完成時の提出図書

次の図書を提出する(機器製作図含む)。(1.1.7.1)~(1.1.7.3)<1.1.8.1>~<1.1.8.4>
●完成図

作成する。その場合は施工図を完成図に添付するものとする。
製本サイズ(●A1 ○A2 ●A3) 提出部数(2)部
(2)原則として黒文字製本とし、表紙の書き方は監督職員の指示とする。
(3)完成図CADデータを提出する。
参考CADデータの貸与 ●あり ○なし
●安全に関する資料等(※1部 ○「」部)
建築物等の利用に関する説明書、機器取扱い説明書、機器性能試験成績書、官公署届出書類、主要機器一覧表、総合調整測定表、連絡先、保証書、資格一覧表を提出する。
●その他の引き渡し書類
施工図(制御システム図・機器配管固定の施工図等)、施工計画書、各種承諾図、工事写真、その他各種検査書類等を整理し、監督職員の指示する部数を提出する。
○既存完成図の修正(多年度継続工事の場合)
既存完成図を今回工事の内容を含んだものに修正し、全体完成図として提出する。

●工事写真・完成写真

●工事写真 「工事写真の撮影要領(建築工事・設備工事)(奈良県県土マネジメント部)」による。
●完成写真 ※工事写真に準じて作成する。 ○下表による。(1.1.2.4)<1.1.2.4>

分類・規格	撮影枚数	部数	原板の大きさ(mm)
○カラーサービス版	○0 ○6 ○9		
○カラーキャビネ版	監督職員指示箇所		

(ただし、上記写真は、アルバム製本とする。)
○完成写真として、全紙パネルを 部提出する。

○電動機

電動機出力が0.75kW以上の低圧三相かご形誘導電動機の規格は、JIS C 4213(低圧三相かご形誘導電動機—低圧トッランナーモータ)による。(2.1.2.1)

○制御及び操作盤

機器に付属する制御及び操作盤の仕様の優先順位は、次の(1)~(3)の順番のとおりとする。
(1)図示による。(図面番号)
(2)標準仕様書第2編表2.1.6~2.1.8による。
ただし、標準仕様書各編で製造者の標準仕様と明示されたものは除く。また、同表の各機材ごとの△印の項目の適用は、 ○適用する ○適用しない
インバータ用制御及び操作盤の仕様において標準仕様書第2編1.2.2.2の規定を ○適用する (高調波対策 ○要 ○不要) ○適用しない
(3)製造者の標準仕様(2.1.2.2)<2.1.2.1>

○空調設備

○風量調整(測定共) ○水量調整(測定共) (2.1.3.3)<2.1.3.3>
○室内外空気の温湿度測定 ○室内気流じんあいの測定
○騒音の測定(測定箇所及び規制値は図示による)

○換気設備

○風量調整(測定共) ○室内気流じんあいの測定 (2.1.3.3)<2.1.3.3>
○騒音の測定(測定箇所及び規制値は図示による)

○排煙設備

○風量調整(測定共) ○騒音の測定(測定箇所及び規制値は図示による) (2.1.3.3)<2.1.3.3>

○給水設備

○飲料水の水質の測定 (2.1.3.3)<2.1.3.3>
○平成15年3月25日付け厚生労働省告示第119号第二の一の1の(4)による
○水道法施行規則第10条による水質検査
○雑用水の水質の測定
※建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第四条の二による

天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図面名称	縮尺			図番
	2024-11	機械設備工事特記仕様書 1				

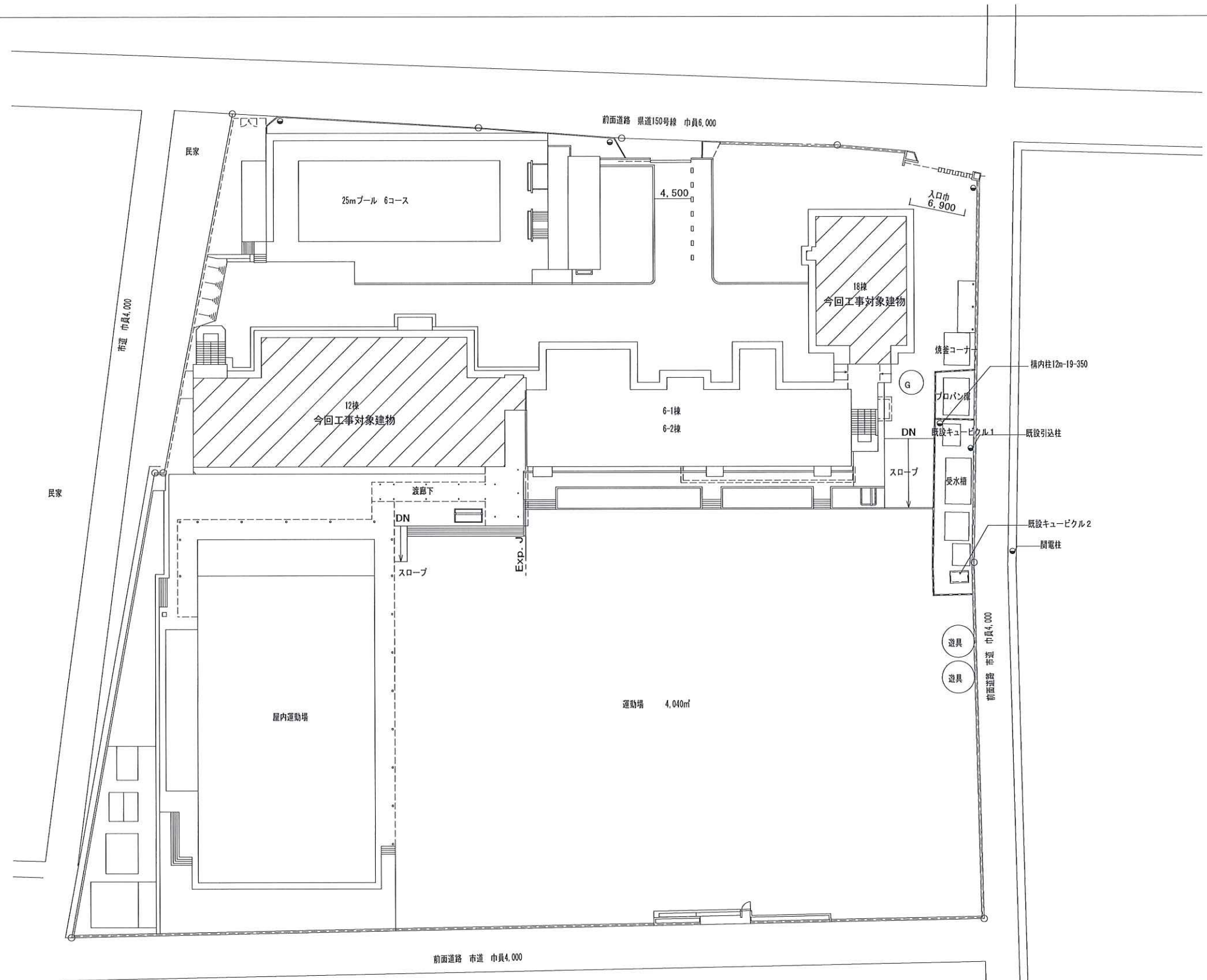
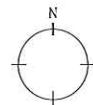
奈良文庫電気設備株式会社

M-01

共	○継手	管端コア付銅管を除く塩化ビニルライニング銅管、耐熱性塩化ビニルライニング銅管及びポリ粉体銅管で、ねじ接合する場合の継手は管端防食継手とし、パイプニップルは管端防食継手用パイプニップルとする。 (2.2.1.2) 呼び径60Su以下の一般配管用ステンレス銅管 (2.2.5.7) ○ プレス式 ○ 拡管式 ○																																																									
	○一般用弁の耐圧	図面に明記なき一般用弁の耐圧は、下記による。 水道直結配管に使用する弁は、JIS又はJV 0.98MPa(10K)弁とする。 その他配管に使用する弁は、※JIS又はJV 0.49MPa(5K)弁 ○JIS又はJV 0.98MPa(10K)弁																																																									
	○銅管用伸縮管継手	※ベローズ形 ○スリーブ形 (2.2.2.7)																																																									
	○異種管の接合及絶縁継手	○異種管の接合要領 ※標準図(施工3) ○図示(図面番号) ○機器接続部の金属材料と配管材料のイオン化傾向が大きく異なる場合(銅とステンレス、銅と銅)は、絶縁継手を使用し、設置箇所及び絶縁継手の仕様は図示による。 (図面番号) (2.2.2.12)(2.2.4.1)(2.2.2.1)																																																									
	○量水器	○直読式 ○遠隔式 (2.2.2.16)																																																									
	○緊急遮断弁装置	駆動方式 ○電気式 ○機械式 (2.2.2.22)																																																									
	○水栓柱	本体 ※合成樹脂製 ○7Mニウム合金製 ○ステン製 ○人造石とぎ出し製 寸法 ※約70mm×約70mm×約1,300mmH ○ (2.2.2.23)																																																									
	○不凍水栓柱の寸法	※全長約1,500mm ○ (2.2.2.24)																																																									
	○スリーブ	(1) 外壁の地中部分等水密を要する部分のスリーブ ※つば付銅管 ○ (2) 地中部分で水密を要しない部分のスリーブ ※ビニル管(VU) ○ (3) 柱及び梁以外の箇所で、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径200mm以下の部分 ※紙製板枠 (4) 上記以外の銅管製スリーブ ※白管 ○ (2.2.2.27)(2.2.6.1)																																																									
	○瞬間流量計	○固定形 個 ○着脱可能形(測定用タイプ) 個、本体 個 (2.2.3.8)																																																									
通	○建物導入部配管	※不同沈下の恐れがない (2.2.4.1)(2.2.2.1)(2.2.3.11) ○不同沈下の恐れがある 標準図(施工4)のフレキシブルジョイントを使用した方法で施工する。ただし、排水及び通気管を除く。																																																									
	○空調機用トラップの形式	図示による。(図面番号) (2.2.4.8)(2.2.2.8)																																																									
	○ファンコイルの流量弁	○流量調整弁(図面番号) (2.2.4.2) ○定流量弁(図面番号) (2.2.2.2)																																																									
	○管の接合	○ビニル管 (※接着接合 ○ゴム輪接合) (2.2.5.9)(2.2.3.10) ○ポリエチレン管 (○電気融着接合 ○熱融着接合) (2.2.5.10)(2.2.3.11) ○建物導入部において異種管との接続がある 接続部の点検柵の構造 (○TC-1 ○TC-2) ○架橋ポリエチレン管 (○電気融着接合 ○熱融着接合) (2.2.5.11)(2.2.3.12) ○ホリデン管 (○熱融着接合 ○電気融着接合 ○熱融着接合) (2.2.5.12) (2.2.3.13) ○耐火二層管 (※接着接合 ○ゴム輪接合) (2.2.5.14)(2.2.3.15) (伸縮継手の設置箇所は図示による(図面番号))																																																									
	○溶接部の非破壊検査	※実施しない (2.2.5.15)(2.2.3.16) ○実施する (○放射線透過検査 ○浸透探傷検査又は磁粉探傷検査) 判定基準 () 抜取率は下記による。 <table><tr><th>溶接部の種類</th><th>種 別</th><th colspan="2">蒸気配管</th><th>冷却水、冷温水、消火(水用)及び油配管</th></tr><tr><th></th><th>検査の種類</th><th>1.0MPa未満</th><th>1.0MPa以上</th><th></th></tr><tr><td>突合せ溶接部</td><td>放射線透過検査(RT) 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(PT又はMT)</td><td>※ 5 %</td><td>※ 10 %</td><td>※ 5 %</td></tr><tr><td>すみ肉溶接部</td><td>浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(RT又はMT)</td><td>○ (%)</td><td>○ (%)</td><td>○ (%)</td></tr></table> 工場溶接部については適用された抜取率の1/5としてよい。	溶接部の種類	種 別	蒸気配管		冷却水、冷温水、消火(水用)及び油配管		検査の種類	1.0MPa未満	1.0MPa以上		突合せ溶接部	放射線透過検査(RT) 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(PT又はMT)	※ 5 %	※ 10 %	※ 5 %	すみ肉溶接部	浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(RT又はMT)	○ (%)	○ (%)	○ (%)																																					
	溶接部の種類	種 別	蒸気配管		冷却水、冷温水、消火(水用)及び油配管																																																						
		検査の種類	1.0MPa未満	1.0MPa以上																																																							
	突合せ溶接部	放射線透過検査(RT) 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(PT又はMT)	※ 5 %	※ 10 %	※ 5 %																																																						
	すみ肉溶接部	浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(RT又はMT)	○ (%)	○ (%)	○ (%)																																																						
	●配管・ダクトの吊り及び支持	(1) 土間埋設配管の吊りはビーム内(材質はステン製)に準じる。 (2) 銅管、鉄鉄管及びステン鋼管の配管呼び径40以下、ビーム管、ポリエチレン管、ホリデン管及び銅管の呼び径20以下の管の形鋼振止め支持は、 (2.2.6.3)(2.2.4.3) ※不要 ○要(支持間隔は図示による。(図面番号)) (3) 吊り及び支持は、標準図(施工13～17)による。																																																									
○地中埋設管の埋戻土	コンクリート管以外の管を地中埋設とする場合は、管及び被覆樹脂を傷めぬよう山砂の類で管の周囲を埋戻した後、掘削土の良質土で埋戻す。 (2.2.7.1)(2.2.5.1)																																																										
○管の埋設深さ	(1) 一般敷地 ※300mm ○ (2) 構内車両通路 ※600mm ○ (2.2.7.2)(2.2.5.2)																																																										
○地中埋設標及び埋設表示テープ	(1) 給水管 地中埋設標 (※要 ○不要) 埋設表示テープ (※要 ○不要) (2) 消火管 地中埋設標 (※要 ○不要) 埋設表示テープ (※要 ○不要) (3) ガス管 地中埋設標 (※要 ○不要) 埋設表示テープ (※要 ○不要) (4) 油 管 地中埋設標 (※要 ○不要) 埋設表示テープ (※要 ○不要) (5) 地中埋設標の設置箇所は図示による。(図面番号) (6) 埋設給水本管の分枝、曲り部等の衝撃防護措置は図示による。 (図面番号) (7) 埋設表示テープの土被りは150mm程度とする。 (2.2.7.1)(6.2.2.3)(2.2.5.1)(6.2.2.3)																																																										
○防火区画貫通部の処理	標準図(施工1)による。 (2.2.8.1)(2.2.6.1)																																																										
●保温	(1) 保温種別は、標準仕様書第2編表2.3.2及び表2.3.5による。ロックウール保温材、グラスウール保温材及びポリスチレンフォーム保温材が併記されている箇所は、どれを使用してよい。ただし、給水管、排水管で、床下、暗渠内(ビット内を含む)、屋外露出及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)は、ポリスチレンフォーム保温材とする。 (2) 共同溝の保温種別は、図示による。(図面番号)																																																										
共	(3) 配管の保温外装は、次による。 【空気調和設備】(断熱材被覆銅管を含む) 屋 内：隠蔽部(機械室等の露出配管、暗渠内を含む) ※不要 ○要 露出部 ※合成樹脂カバー1 ○合成樹脂カバー2 ○保温化粧ケース(塩化ビニル樹脂) 屋 外：※ステンレス鋼板 ○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 ○カラー亜鉛鉄板 ●保温化粧ケース(○塩化ビニル樹脂 ○アルミ合金 ○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板) 保温化粧ケースの下部カバー ○要 ※不要 【給排水衛生設備】 屋 内：隠蔽部(機械室等の露出配管、暗渠内を含む) ※不要 ○要 露出部 ※合成樹脂カバー1 ○合成樹脂カバー2 ○保温化粧ケース(塩化ビニル樹脂) 屋 外：※ステンレス鋼板 ○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 ○カラー亜鉛鉄板 ○保温化粧ケース(○塩化ビニル樹脂 ○アルミ合金 ○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 ○ステンレス鋼板) 保温化粧ケースの下部カバー ○要 ※不要 (4) 鋼板製タンクの保温は ※行わない ○行う(蓋の部分は行わない) (5) 次のダクト等に保温を行う。 ○換気用ダクト ○外気取入れ用ダクト ○排気用ダクト ○空調している建物内の通りダクト ○屋内外露出排煙ダクト ○内貼りしたダクト及び内貼りしたチャンバー ○断熱材付フレキシブルダクト及びたわみ継手 ○屋外露出の煙道及び煙突 ○暗渠内のダクト ○厨房排気用ダクト (6) 次の管、弁、フランジ等に保温を行う。 ○放熱器廻り蒸気管及び温水管 ○蒸気還管 ○蒸気管及び温水管で、屋内及び暗渠内の各種装置廻りの配管 ○蒸気管及び温水管で、屋内及び暗渠内の弁、フランジ、伸縮管継手、防振継手、フレキシブルジョイント等 ○冷凍機の冷却水管 ○ポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント ○各種タンク類のオーバーフロー管及びドレン管 (冷水、冷温水タンクの第1バルブまでを除く) ○エア抜き以降の配管及び排泥以降の配管等 ○油管 ○断熱材被覆銅管 ○衛生器具の附属品と見なされる器具及び配管 (流し下部の床上排水管を含む) ○給水管で、ポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント ○給水及び排水の地中又はコンクリート埋設配管 ○給湯管で、屋内及び暗渠内の弁、フランジ、伸縮管継手、防振継手、フレキシブルジョイント等 ○保温付被覆銅管 ○排水管で、暗渠内配管(ビット内を含む)、最下階の床下配管、屋外露出配管及び耐火二層管 ○通気管(排水管の分岐点より100mm以下の部分を除く) ○消火管 ○厨房機器及びガス湯沸器廻りの給水、排水及び給湯管 (7) 寒冷地等での保温厚は、図示による。(図面番号) (8) 高圧(0.1MPa)以上の蒸気管及び蒸気ヘッダーの保温厚は、図示による。(図面番号) (9) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 (10) エア抜き管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。 (11) 保温を施す空調用タンクの蓋の保温 ※要 ○不要 (12) 全熱交換形換気扇の給気ダクトの保温 ※要 ○不要 (13) 消火用充水タンクの保温 ※要 ○不要 (2.3.1.4)(2.3.1.5)(2.3.1.6)(2.3.1.3)																																																										
	○塗装	(1) 塗料を屋内で使用する場合はホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ○ (2) 鋼合板の塗り塗料 ※JIS K 5516(合成樹脂鋼合板)の1種 ○ 7Mニウム合金の塗り塗料 ※JIS K 5492(7Mニウム合金)の1種 ○ (3) 電気設備における現場で行う塗装は、以下のとおりとする。 (2.3.2.1) (2.3.2.1) さび止め塗装が施された金属製ブルボックス等の機材 隠れ部 ※ 塗装しない 屋外露出部 ○ 図示による(図面番号) ○ 塗装しない ○ 塗装する 屋外露出部 ○ 図示による(図面番号) ○ 塗装しない ○ 塗装する 亜鉛めっきが施された機材 隠れ部 ※ 塗装しない 屋外露出部 ○ 図示による(図面番号) ○ 塗装しない ○ 塗装する 屋外露出部 ○ 図示による(図面番号) ○ 塗装しない ○ 塗装する																																																									
	○工事用仮設物	構内につくることが ※できる ○できない																																																									
	○足場・さん橋類	※別契約の関係受注者が指定したものは、無償で使用できる。 ※本工事で設ける場合は、標準仕様書第2編第4章第1節4.1.1又は、改修標準仕様書第1編第2章第2節2.1.1によるほか 足場の設置においては「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。なお単管足場、枠組足場を用いる場合の設置場所については図示による。 (2.4.1.1)(1.2.2.1) 内部足場 ※A種、B種、C種、D種 ○E種(単管足場) ○F種(くさび式緊結足場) ○G種(枠組足場) 外部足場 ○A種(枠組足場) ○B種(くさび式緊結足場) ○C種(単管足場) ※D種、E種 ○F種(高所作業車)																																																									
	○設備職員事務所(総会議室を含む)	○設ける(規模 ○10㎡程度 ○20㎡程度 ○30㎡程度 ○65㎡程度 ○100㎡程度) 仕上げの程度 (2.4.1.1)(1.2.3.1) <table><tr><th>部 位</th><th>仕 様</th></tr><tr><td>床</td><td>※合板張り又はビニルシート張り ○</td></tr><tr><td>内壁・天井</td><td>※合板張り又は石膏ボード張り+塗装 ○</td></tr><tr><td>屋根</td><td>※塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り又は鉄板張り+塗装 ○</td></tr></table> ○監督職員事務所の位置は、図示による。(図面番号)	部 位	仕 様	床	※合板張り又はビニルシート張り ○	内壁・天井	※合板張り又は石膏ボード張り+塗装 ○	屋根	※塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り又は鉄板張り+塗装 ○																																																	
	部 位	仕 様																																																									
	床	※合板張り又はビニルシート張り ○																																																									
	内壁・天井	※合板張り又は石膏ボード張り+塗装 ○																																																									
	屋根	※塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り又は鉄板張り+塗装 ○																																																									
	○監督員事務所の備品	監督員事務所の備品等の種類及び数量は以下の表による (2.4.1.1) <table><tr><th>備品の種類</th><th>机・椅子</th><th>書 棚</th><th>黒板又はホワイトボード掛時計</th><th></th><th></th></tr><tr><td>数 量</td><td>組</td><td>台</td><td>個</td><td></td><td>個</td></tr><tr><th>備品の種類</th><th>ゴム長靴</th><th>雨がっぱ</th><th>安全帯</th><th>ヘルメット</th><th></th></tr><tr><td>数 量</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td></td><td>個</td></tr><tr><th>備品の種類</th><th>懐中電灯</th><th>衣類ロッカー</th><th>冷暖房機器</th><th>加入電話機</th><th></th></tr><tr><td>数 量</td><td>個</td><td>人用</td><td>台</td><td></td><td>台</td></tr><tr><th>備品の種類</th><th>湯沸器</th><th>掃除具</th><th>パソコン</th><th>周辺機器</th><th></th></tr><tr><td>数 量</td><td>台</td><td>個</td><td>台</td><td></td><td></td></tr></table> その他事務所として通常必要な備品を備えること。	備品の種類	机・椅子	書 棚	黒板又はホワイトボード掛時計			数 量	組	台	個		個	備品の種類	ゴム長靴	雨がっぱ	安全帯	ヘルメット		数 量	足	着	個		個	備品の種類	懐中電灯	衣類ロッカー	冷暖房機器	加入電話機		数 量	個	人用	台		台	備品の種類	湯沸器	掃除具	パソコン	周辺機器		数 量	台	個	台											
備品の種類	机・椅子	書 棚	黒板又はホワイトボード掛時計																																																								
数 量	組	台	個		個																																																						
備品の種類	ゴム長靴	雨がっぱ	安全帯	ヘルメット																																																							
数 量	足	着	個		個																																																						
備品の種類	懐中電灯	衣類ロッカー	冷暖房機器	加入電話機																																																							
数 量	個	人用	台		台																																																						
備品の種類	湯沸器	掃除具	パソコン	周辺機器																																																							
数 量	台	個	台																																																								
○土工事	○地中埋設管を除き、埋め戻し及び盛土は、 (2.4.2.1) ※根切り土の中の良質土を使用し、十分な締め固めを行う。 (2.7.1.1) ○山砂の類を使用し、十分な締め固めを行い、水締めを行う。 ○残土処分 ※公的な受入施設又は県マネジメント部が建設発生の受入施設として登録している民間受入施設に搬出 ○構内指示の場所に敷きならし(図面番号)																																																										
○コンクリート工事	図面に明記なきコンクリート設計基準強度及びスランプは、下記による。 (2.4.4.1) 設計基準強度 ※18N/mm ² 以上 ○ (2.7.3.1) スランプ ※18cm以下 ○ 少量(1m ³ 以内)の場合は、配合計画書により強度試験を省略することが出来る。																																																										
○鋼材工事	鋼製架台、はしご等の機器付属金物及び配管、ゲートの支持金物の屋外部分は、ステン鋼製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき(※2種35 ○2種50)とする。 ただし、ビーム内等多湿箇所の吊り及び支持金物はステン鋼製(SUS304)とする。 (2.4.6.2)(2.7.5.2)																																																										
○耐震施工	耐震措置の計算及び施工方法は、次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版(独立行政法人建築研究所監修)による。 (1)機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあつては有効質量)に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度 <table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">機器種別</th><th colspan="2">○特定の施設</th><th colspan="2">※一般の施設</th></tr><tr><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階・屋上及び塔屋</td><td>機器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中間階</td><td>機器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">地階・1階</td><td>機器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水槽類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table> ・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。 (3.2.1.1)(5.2.2.1) ・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。 (3.1.5.7)(4.2.3.1) ・重要機器は次のものを示す。 (2.4.1.2)(3.2.1.1) ○給水機器() (4.2.3.1)(5.2.1.2)(5.2.2.1) ○排水機器() ○換気機器 ○空調機器 ○熱源機器 ○防災設備 ○監視制御設備 ○危険物貯蔵装置 ○火を使用する設備 ○避難経路上に設置する機器 (2)設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。		機器種別	○特定の施設		※一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階・屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0	中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6	地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
	機器種別			○特定の施設		※一般の施設																																																					
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																						
上層階・屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																						
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																						
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																						
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																						
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																						
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																						
●はつり	電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用すること。 既存のコンクリート床、壁等配管貫通部の穴開けは、原則としてゲイムドッカーを使用する。なお、復旧はモルタル又はコンクリートを充てんする(建築基準法に適合させること)。 また、はつり作業に先立ち、石綿含有仕上塗材がある箇所の配管貫通部等は、関係法令の作業基準に従い、除去する石綿含有仕上塗材を薬液等により湿潤し、手ばつりにより除去する。 (2.4.1.1)(2.4.1.3)(2.4.1.6)																																																										
○容量等の表示	機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 ただし、電動機の出力、燃料消費量及び圧力損失は表示された数値以下とする。																																																										
○防火区画	○平面階 ○図示(図面番号) ○																																																										
○掲示板	機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図等を描いた掲示板を設ける。																																																										
○マンホール、蓋類	※用途名入りとする。 ○県名入りとする。																																																										
○取替機器	機器を取り替えた場合、取替日、受注者、施工者名及び能力を記した銘板を取付ける。																																																										
天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図 面 名 称	縮 尺	奈良文庫電気設備株式会社	図 番																																																						
	2024-11	機械設備工事特記仕様書 2			M-02																																																						

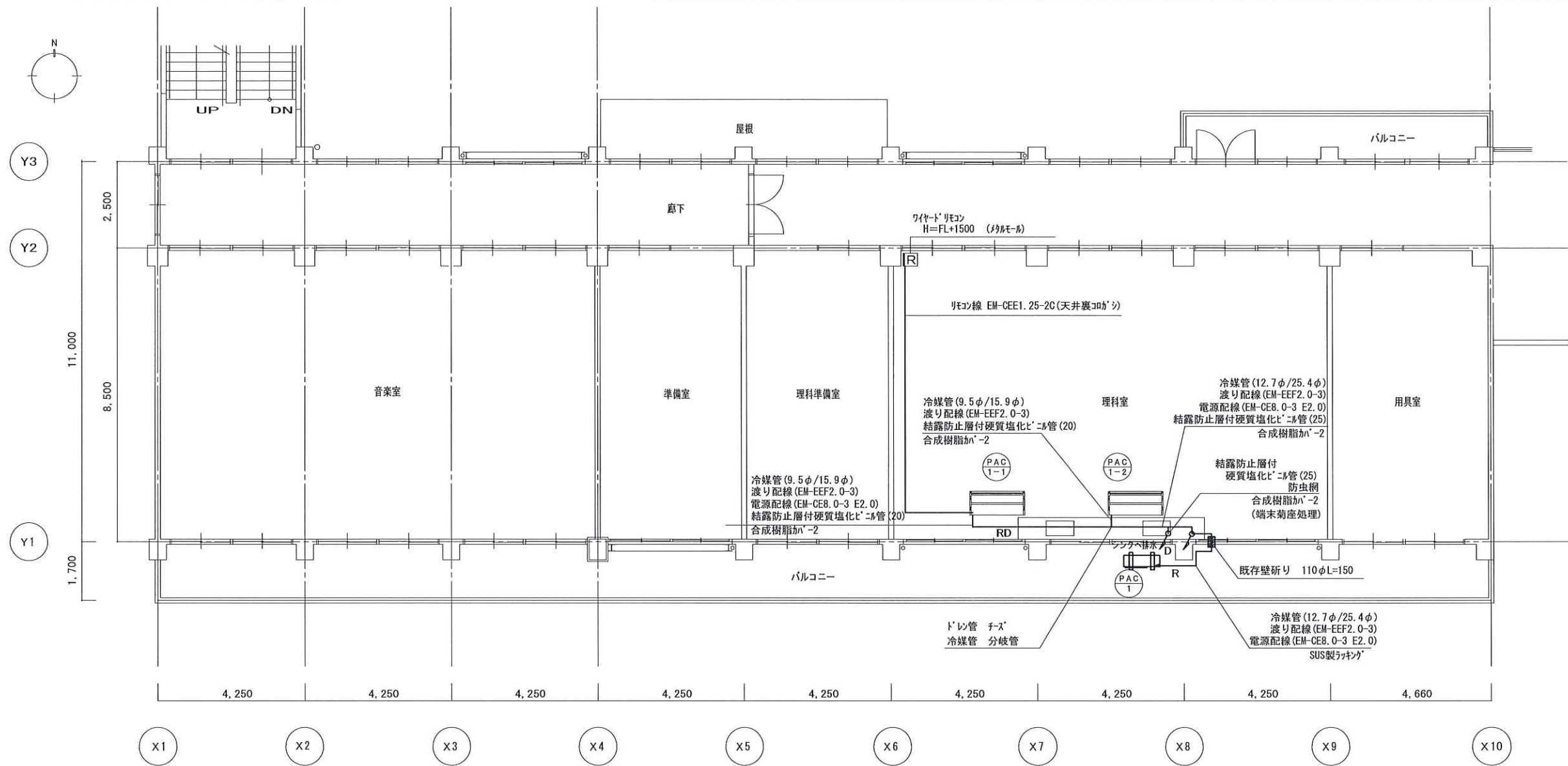
共 通 事 項	○天井点検口	天井点検口の裏側に用途名称を付す。						
	●機器の据付	仕様書等に記載ないものに関しては、メーカー据付要領を参照として、施工計画書にもりこむこと。						
	●方式	※新設 ○改修 ○全空気方式 (○中央 ○各階ユニット) ○ファンコイル・ダクト併用方式 ●個別方式		○既設 ○全空気方式 (○中央 ○各階ユニット) ○ファンコイル・ダクト併用方式 ○個別方式				
	●主要空調機器	○ボイラー ○温暖房機 ○温水発生機 ○遠心冷凍機 ○スクリーウ冷凍機 ○吸収冷凍機 ○冷却塔 ○チリングユニット ○空気熱源ヒートポンプユニット ○直だし吸収冷水機 ○小型吸収冷水機ユニット ○コージェネレーション装置 ○水蓄熱ユニット ○ユニット形空調調和機 ○コンパクト形空調調和機 ●パッケージ形空調調和機 ○ガスエンジン式パッケージ形空調調和機 ○ファンコイルユニット ○空気清浄装置 ○全熱交換器 ○放熱器						
	●設計時の温湿度条件	場所 屋 外 屋 内（調整目標値） 時期 温度 (DB) 湿度 (RH) 一般事務室 一般事務室 一般事務室 冬 期 0.3℃ 67.2% 22℃ 40% ℃ % 夏 期 35.6℃ 51.3% 26℃ 50% ℃ %						
	○ダクトの種別	※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト (3.1.14.3) (3.2.2.2) (3.2.2.2)						
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○スパイラルダクト ○フレキシブルダクト ○コーナーボルト工法 (長辺が1500mm以下の部分) (○ 共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法) (3.2.2.1) (3.2.2.7) 屋外に設置するダクト類にはシール等で水密を確保する。 (3.2.2.1) (3.2.2.5)						
	○チャンバー等	製作及び取付は、標準仕様書第3編2.2.2「アングルフランジ工法ダクト」の当該事項による。 消音内貼 ※ 要 (標準仕様書第2編表2.3.2及び表2.3.4による。) (2.3.1.4) (3.1.14.6) (3.2.2.2) (3.2.2.5) ○ 不要						
	○吹出口及び吸込口ボックスの材料	※亜鉛鉄板製 ○グラスウール製 (3.1.14.7) ボックスの吊りは3点支持を標準とし、これによらない場合は監督職員との協議による。						
	○風量測定口の取付位置	※図示による。(図面番号) (3.2.2.5) (3.2.2.5)						
設 備	●配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。(2.2.1.2) (2.2.3.7) (1) 冷温水管・膨張管・エア抜管・膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白管) ○耐熱性ライニング鋼管(SGP-HVA, SGP-H-FVA, SGP-H-FCA) ○ステンレス鋼管(SUS304)(継手) ○架橋ポリエチレン管 ○ポリブデン管 (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管(白管) ○硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PA, SGP-FPA) ○ステンレス鋼管(SUS304)(継手) (3) 蒸気給気管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒管) ○圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370黒管Sch40) (4) 蒸気還管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370黒管Sch40) ○一般配管用ステンレス鋼管(SUS304)(継手) ○ (5) 高温水管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370黒管) ○Sch40 ○Sch80 ○ (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管(黒管)(トラフ内共) ○ (7) 空調用給水管 ○硬質塩化ビニルライニング鋼管(SGP-VA, SGP-FVA) ○ポリエチレン粉体ライニング鋼管(SGP-PA, SGP-FPA) ○水道用硬質塩化ビニル管(HIVP) ○ (8) 空調用排水管 ●硬質塩化ビニル管(VP) ○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管(D-VA) ○結露防止層付硬質塩化ビニル管(屋内) ○ (9) 冷煤管 ※断熱材被覆鋼管 ○鋼管 ○圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370黒管Sch40)						
	○定風量ユニット 変風量ユニット	○メカニカルタイプ ○風速センサータイプ (3.1.15.13) (3.1.15.14) 制御については図示による。(図面番号)						
	○地下オイルタンク	(1) 本体 ※地下オイルタンク 記号 T0- (2.2.3.6) (3.1.13.7) ○鋼製強化プラスチック製二重殻タンク 記号 T0SF- (2) 蓋 ※WPM-AW800 ○WPM-AW700 ○WPM-A450 ○ (3) タンク室 ○設けない(コロッケ形) ○ (4) コンクリート工事 ※本工事 ○別途建築工事 (5) コンクリート躯体工事 ※本工事 ○別途建築工事 (6) 内部充填砂 ※本工事 ○別途建築工事 (7) タンク外面防護処理 ※施工しない ○施工する (○アスファルト被覆 ○エポキシ樹脂被覆 ○) (8) 基礎杭 ※不要 ○要 (9) 遠隔油量指示計 ※設ける ○設けない (10) 副指示計 ※設ける ○設けない						
	○バーナーの制御方式	○オン・オフ制御 ○ハイ・ロー制御 ○比例制御 ○() (3.1.1.1) (3.1.2.1) (3.1.2.4)						
	○鋼板製煙道等	図面に明記なき鋼板製煙道の厚さ ※3.2mm ○4.5mm (3.1.1.2) 煤煙濃度計取付座及び煤塵量測定口(80φ以上)の箇所は図示による。(図面番号) (3.2.1.3)						
	○ばい煙濃度計	○設けない ○設ける(電源制御盤より取り出し配管配線は本工事に含む。) ※送風機付き ○送風機なし (3.1.1.3)						
	○給水軟化装置	(1) 運転方式 ※自動式 ○手動式 (3.1.1.5) (2) イオン交換樹脂筒 ※1筒式 ○ (3) 処理水用硬度測定器 ※設ける ○設けない						
	○無圧式温水発生器の本体内面防錆処理	ステンレスを除く鋼製の場合の内面防錆処理は (3.1.2.2) ○溶融亜鉛めっき2種45 ○溶融アルミニウムめっき2種 ○熱媒水に腐食抑制剤を添加する方法						
	○冷凍機	○チリングユニット 仕様等図示による。(図面番号) (3.1.3.1) (3.1.3.7) ○空気熱源ヒートポンプユニット 仕様等図示による。(図面番号) ○遠心冷凍機 仕様等図示による。(図面番号) ○スクリーウ冷凍機 仕様等図示による。(図面番号) ○吸収冷凍機 仕様等図示による。(図面番号) ○吸収冷水機 仕様等図示による。(図面番号) ○吸収冷水機ユニット 仕様等図示による。(図面番号) 基礎等は図示による。(図面番号) (3.2.1.1) (3.2.1.9)						
	○冷却塔	仕様等図示による。(図面番号) (3.1.6.7) 基礎等は図示による。(図面番号) (3.2.1.1) (3.2.1.9)						
○コージェネレーション装置	仕様、システム等は図示による。(図面番号) (3.1.4.1) (3.1.4.16) 基礎等は図示による。(図面番号) (3.2.1.1) (3.2.1.9)							
○水蓄熱ユニット	仕様等図示による。(図面番号) (3.1.5.1) (3.1.5.11) 基礎等は図示による。(図面番号) (3.2.1.1) (3.2.1.9)							
換 気 設 備	●空気調和機	○ユニット形空調調和機 仕様等図示による。(図面番号) ○コンパクト形空調調和機 仕様等図示による。(図面番号) ○デシカント空調調和機 仕様等図示による。(図面番号) ○ファンコイルユニット 仕様等図示による。(図面番号) ○カセット形ファンコイルユニット 仕様等図示による。(図面番号) ●パッケージ形空調調和機 仕様等図示による。(図面番号) ○マルチパッケージ型空調調和機 仕様等図示による。(図面番号) ○ガスエンジンヒートポンプ式空調調和機 仕様等図示による。(図面番号) 基礎等は図示による。(図面番号) (3.1.7.1) (3.1.7.8) (3.2.1.1)						
	○空気清浄装置	フィルターの形式等図示による。(図面番号) (3.1.8.1) (3.1.8.5)						
	○回転形全熱交換器	回転数制御装置は図示による。(図面番号) (3.1.9.1) (3.1.9.4)						
	○全熱交換ユニット	運転表示灯及び操作スイッチ等は図示による。(図面番号) (3.1.9.1) (3.1.9.4)						
	○放熱器及び放熱器付属品	ファンコンベクターの吹出口、吸込口、エアフィルター等図示による。(図面番号) コンベクター、パネルラジエーターの寸法、放熱能力等図示による。(図面番号) (3.1.10.1) (3.1.10.11)						
	○送風機	電動機の仕様等は図示による。(図面番号) (3.1.11.1) (3.1.11.4) 水抜き穴(※設けない ○設ける) 基礎等は図示による。(図面番号) (3.2.1.18) (3.2.1.18)						
	○ポンプ類	本体及びベースの材質、構成、形式、フット弁の口径、電動機等図示による。(図面番号) (3.1.12.1) (3.1.12.6) 基礎等は図示による。(図面番号) (3.2.1.19) (3.2.1.19)						
	○還水タンク	本体材質 ○SUS304 ○SUS316 ○SUS444 配管接続は図示による。(図面番号) (3.1.13.2)						
	○膨張タンク	○開放形膨張タンク(○鋼板製 ○ステンレス鋼板製(SUS304)) (3.1.13.5) ○密閉形隔膜式膨張タンク(溶接栓 ○あり ○なし) (3.1.13.6)						
	○ヘッダー	還水管接続口 ○設ける ○設けない 排水管接続口 ○設ける ○設けない (3.1.13.9)						
調 和 機 具 設 備	○ダクトの種別	※低圧ダクト ○高圧1ダクト ○高圧2ダクト (3.1.14.1) (3.2.2.1) (3.2.4.5)						
	○ダクトの工法	○アングルフランジ工法 ○スパイラルダクト ○フレキシブルダクト ○コーナーボルト工法(長辺が1500mm以下の部分) (○ 共板フランジ工法 ○スライドオンフランジ工法) (3.1.14.3) (3.1.14.10) 屋外に設置するダクト類にはシール等で水密を確保する。 (3.2.2.1) (3.2.2.5)						
	○厨房用排気ダクトの板厚	厨房用排気ダクトの板厚は下記による。(3.1.14.3) (3.2.2.2)						
		ダクトの長辺(mm) 適用表示厚さ(mm) 450以下 () 450を超え、750以下 () 750を超え、1500以下 () 1500を超え、2200以下 ()						
	○送風機	電動機直動式の場合の極数等図示による。(図面番号) 基礎等は図示による。(図面番号) (3.1.11.1) (3.1.11.4) (3.2.1.18) (3.2.1.18)						
	○吹出口及び吸込口ボックスの材料	※亜鉛鉄板製 ○グラスウール製 (3.1.14.7)						
	○排気フード	(1) 排気フードの補強、支持金物、接合材等は、亜鉛鉄板製ダクトの当該事項によるものとし、材質は次による。 ※ステンレス鋼板(補強共) ○亜鉛鉄板 (2) フード囲いにダンパー類の点検口を ○設ける ○設けない (3) フードの内側周囲にはといを設け、といには呼び径10~20の黄銅製コック、プラグ又はステンレス製コックを ○設ける ○設けない (3.1.14.8)						
	○グリス除去装置	○グリスエクストラクター ○グリスフィルター (3.1.14.11)						
	換 気 設 備	○防煙ダンパー 防火防煙ダンパー ピストンダンパー	防煙ダンパー・防火防煙ダンパーの復帰方式 (3.1.15.8) (3.1.15.10) ※遠隔復帰式(電気式(定格入力 DC24V 0.6A以下)) ○手動復帰式 ピストンダンパーの復帰方式 ※遠隔復帰式 ○手動復帰式					
		○ドレン抜き	厨房、浴室等の多湿箇所の排気ダクトに設ける。(図面番号) (3.2.2.1)					
○排煙対象部分		○廊下 ○事務所 ○図示による。(図面番号)						
○ダクトの種別		○高圧1ダクト ○高圧2ダクト (3.1.14.5) (3.2.2.1) (3.2.2.4) (3.2.2.5)						
○ダクトの工法		※アングルフランジ工法 ○ (3.2.2.1) (3.2.2.2) (3.2.2.4) (3.2.2.5)						
○ダクトの材料		※亜鉛鉄板製 ○普通鋼板製 (3.1.14.1) (3.2.2.4) (3.2.2.5)						
○排煙口及びダクト		(1) 形状は図示による。(図面番号) (2) 排煙口の作動 ○手動(○機械式 ○電気式) ○煙感知器連動 (3.1.15.6) (3) ダンパー本体及び操作箱との渡り配線は本工事とし、それ以降の制御配管、配線は(○ 工事)とする。 (3.2.3.2) (3.2.3.3)						
○排煙機		形式 ※遠心送風機 ○斜流送風機 ○軸流送風機 (3.1.11.4) 基礎等は図示による。(図面番号) (3.2.1.18)						
○自動制御設備一般		システム構成、仕様及び機能は図示による。(図面番号) (4.1.1.1) (4.1.1.1)						
○自動制御機器		デジタル式調節部の中央監視制御装置との通信機能は図示による。(図面番号) 操作部電動弁の開閉状態を遠方表示するための電気接点は図示による。(図面番号) (4.1.2.2) (4.1.2.3)						
自 動 制 御 設 備	○中央監視制御装置一般	システム構成、仕様及び機能は図示による。(図面番号) (4.1.4.1)						
	○中央監視盤	システム構成、仕様及び外観形状は図示による。(図面番号) (4.1.4.2)						
	○周辺装置	印字装置の方式は図示による。(図面番号) (4.1.4.3) 集合表示装置は図示による。(図面番号)						
	○端末装置	種類及び機能は図示による。(図面番号) (4.1.4.4)						
	○電気計装用機材	電線及びケーブルの規格、通信信号線の規格及び使用区分、線径及び本数は図示による。 電線管及び付属品等の規格は図示による。(図面番号) (4.1.5.1)						
	○小便器用節水装置	○小便器一体型 ○小便器分離型 (5.1.1.2)						
	○温水洗浄式便座	加熱方式 (○ 貯湯式 ○ 瞬間式) (5.1.1.2) 温風乾燥機能 (○ あり ○ なし) (5.1.1.13) 擬音装置 (○ あり ○ なし) リモコン (○ あり ○ なし)						
	○大便器ユニット	大便器の種類及び給水装置の組合せ、ケーシングの化粧前板・甲板の仕様、配管は図示による。(図面番号) (5.1.1.3)						
	○小便器ユニット	小便器の種類及び節水装置の組合せ、配管、ケーシングの化粧前板・甲板の仕様は図示による。(図面番号) (5.1.1.3)						
	○洗面器ユニット	洗面器の種類及び給湯管の要否、配管、ケーシングの化粧前板・甲板の仕様は図示による。(図面番号) (5.1.1.3)						
衛 生 器 具 設 備	○壁掛型汚物流しユニット	汚物流しの種類、ホース付ストーマ器具洗浄用水栓、給湯方式、配管材料は図示による。(図面番号) (5.1.1.3)						
	○その他のユニット	掃除流しユニット、手洗器ユニット、車椅子対応ユニット等の仕様は図示による。(図面番号) (5.1.1.3)						
	○浴室ユニット	プラスチック浴槽ふた、照明の種類、給水・給湯管の要否、管材、壁・床・天井、付属品の仕様は図示による。(図面番号) (5.1.1.4)						
	○複合浴室ユニット	照明の種類、給水・給湯管の要否、管材、壁・床・天井、付属品の仕様は図示による。(図面番号) (5.1.1.5)						
	○大便器用洗浄弁	操作方式 ○手動式 ○電気開閉式 (○センサー式 ○タッチスイッチ式) (5.1.1.8)						
	○化粧棚	陶器製又は金属製の縁付きとし、大きさは図示による。(図面番号) (5.1.1.10)						
	○水石入れ	○手洗器一体型 ○手洗器分離型 ○自動供給式 ○ (5.1.1.11)						
	○自動水栓	電源供給方式 (○AC電源式 ○乾電池式 ○発電式) (5.1.1.7) 手動スイッチ (○あり ○なし)						
	○大便器耐火カバー	※設ける(ピット内は除く) ○設けない						
	○多目的トイレの器具配置	紙巻器、便器洗浄ボタン、呼出ボタンの配置はJ I S S 0 0 2 6による。						
換 気 設 備	○鏡	大きさ等は図示による。(図面番号) (5.1.1.9)						
	○給水方式	○水道直結方式 ○高置タンク方式 ○増圧ポンプ方式(水道用直結加圧ポンプユニット) ○ポンプ直送方式(小型給水ポンプユニット)						
	○加入金等	※不要 ○要(○本工事 ○別途工事) 名称:						
	天 理 市 立 柳 本 小 学 校 特 別 教 室 空 調 機 設 備 設 置 工 事	竣 工 年 月 日	図 面 名 称	縮 尺		図 番		
		2024-11	機械設備工事特記仕様書3			M-03		
	奈良文庫電気設備株式会社							

天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	機	設	備	設	置	工	事	機	材	製	造	者	名	製	造	者	名	図	番	天	理	市	立	柳	本	小	学	校	特	別	教	室	空	調	
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

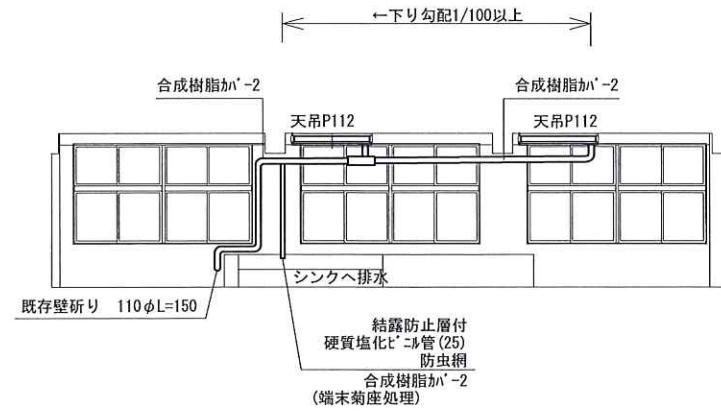


空調機器表						
記 号	名 称	仕 様	電 気 容 量		台 数	設 置 場 所
			電 源	容 量 (kW)		
PAC-1~3	パッケージエアコン	形 式：天井吊形（ツイン同時）	3φ200V		1	（室外機）1階 屋外
		冷房能力：20.0kW 暖房能力：22.4kW	圧縮機	4.60	1	3階 1F 1F
		付属品：ワイヤードリモコン、分岐管、室外機安全ネット			1	4階 1F 1F
		転倒防止金具、室外機用コンクリート製据付架台（防振ゴム共）				
					2	（室内機）2階 家庭科室
					2	3階 図工室
					2	4階 理科室

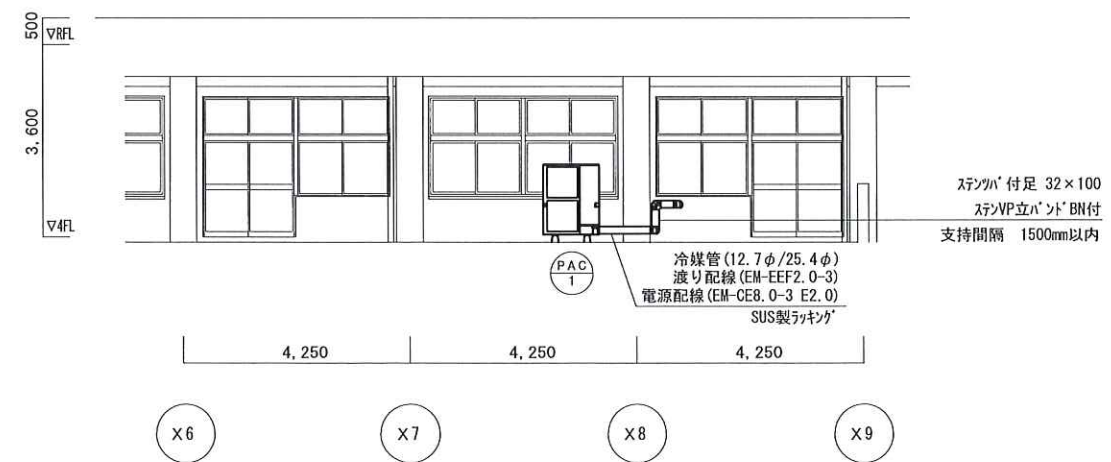
天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図 面 名 称	縮 尺	奈良文庫電気設備株式会社	図 番
	2024-11	機械設備 配置図、機器リスト	1/500		M-05



4階 平面図

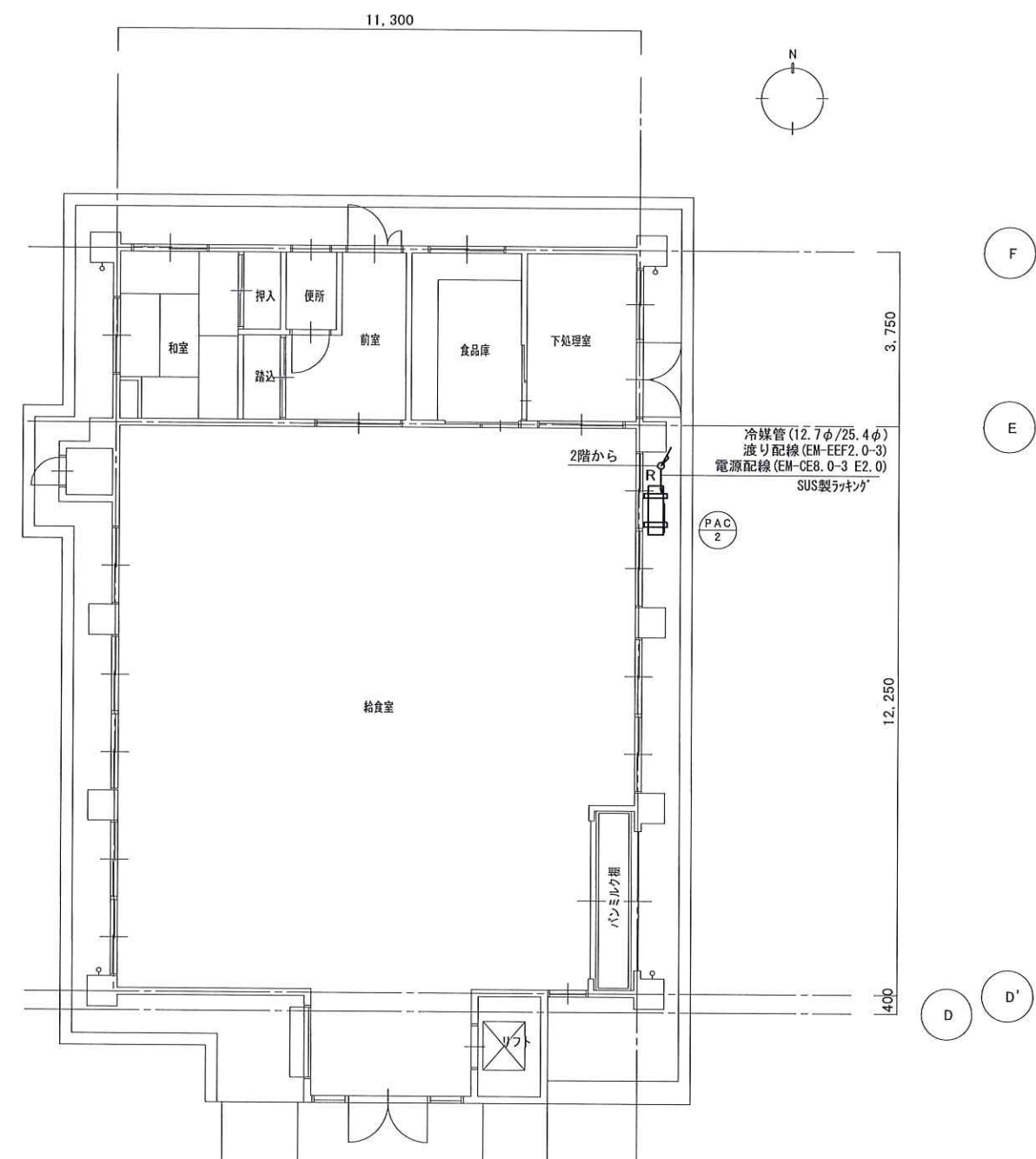
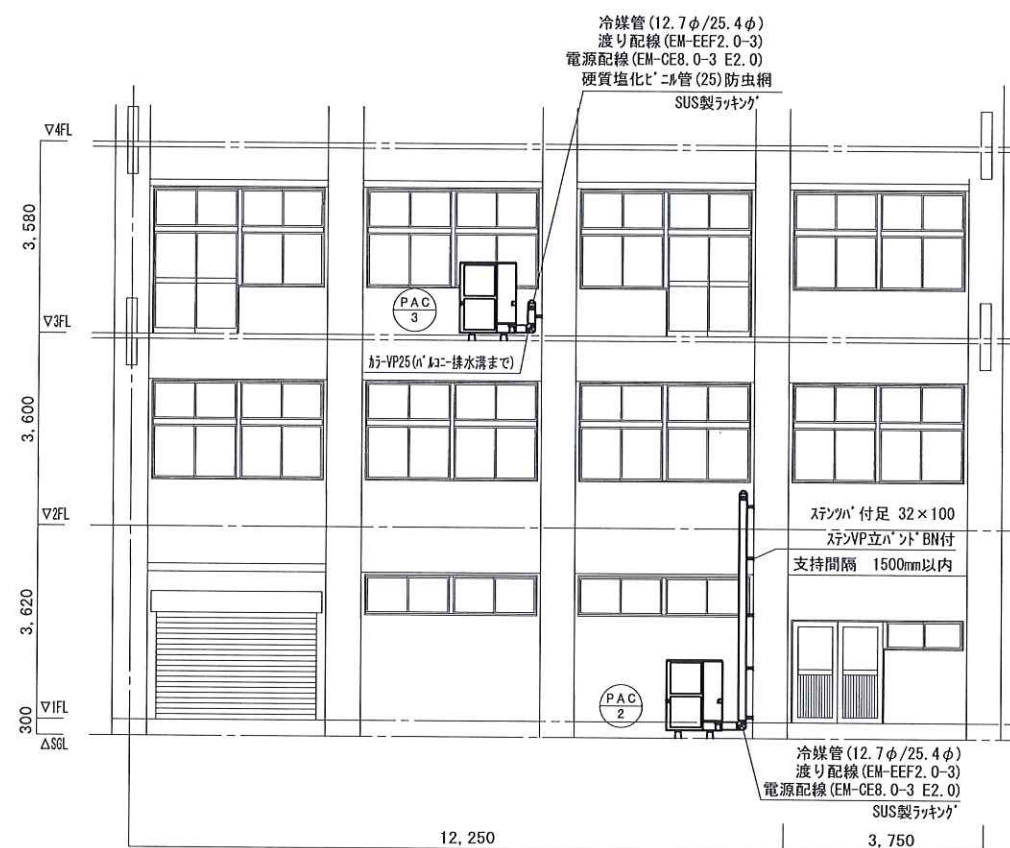


理科室 南面立面図

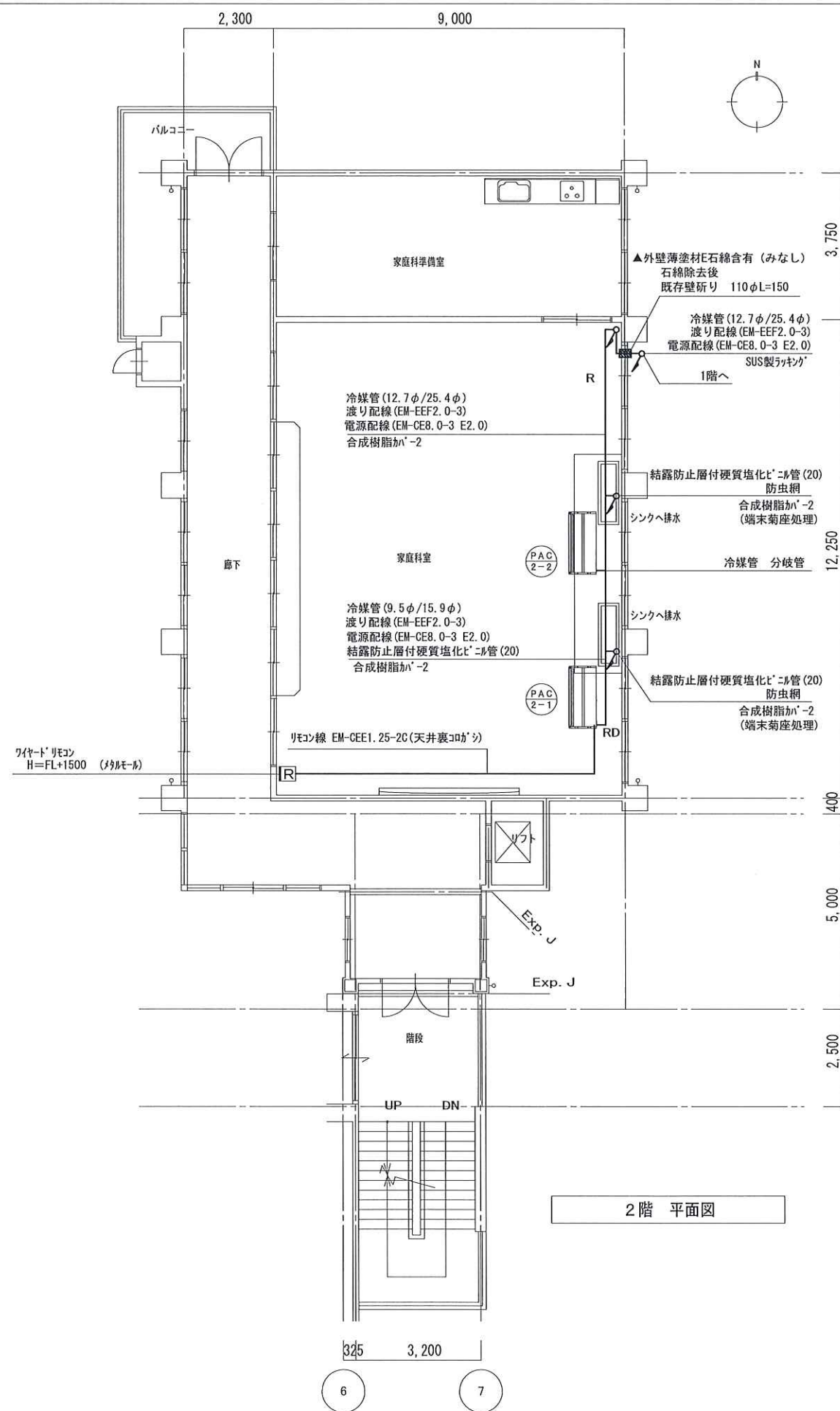


理科室 南側立面図

天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図面名称	縮尺	奈良文庫電気設備株式会社	図番
	2024-11	12棟 空調調和設備 4階平面図・立面図	1/100		M-06



天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図 面 名 称	縮 尺	奈良文庫電気設備株式会社	図 番
	2024-11	1 8 棟 空気調和設備 1 階平面図・立面図	1/100		M-07



F

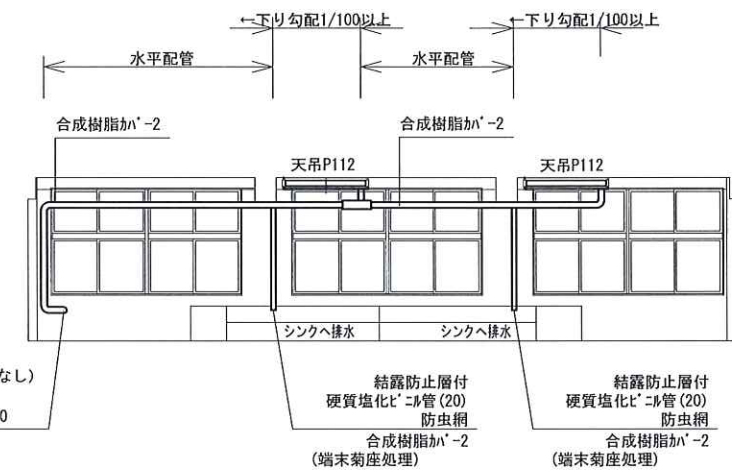
E

D

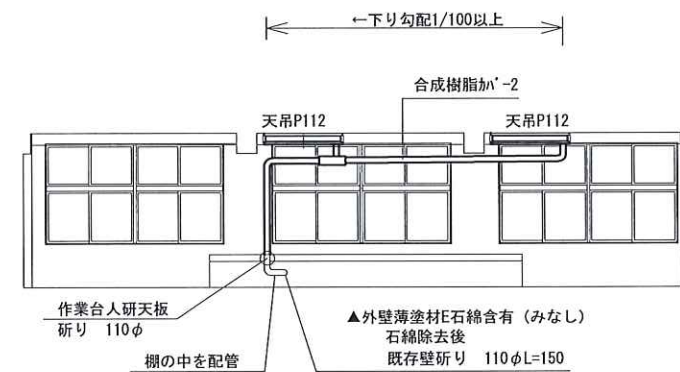
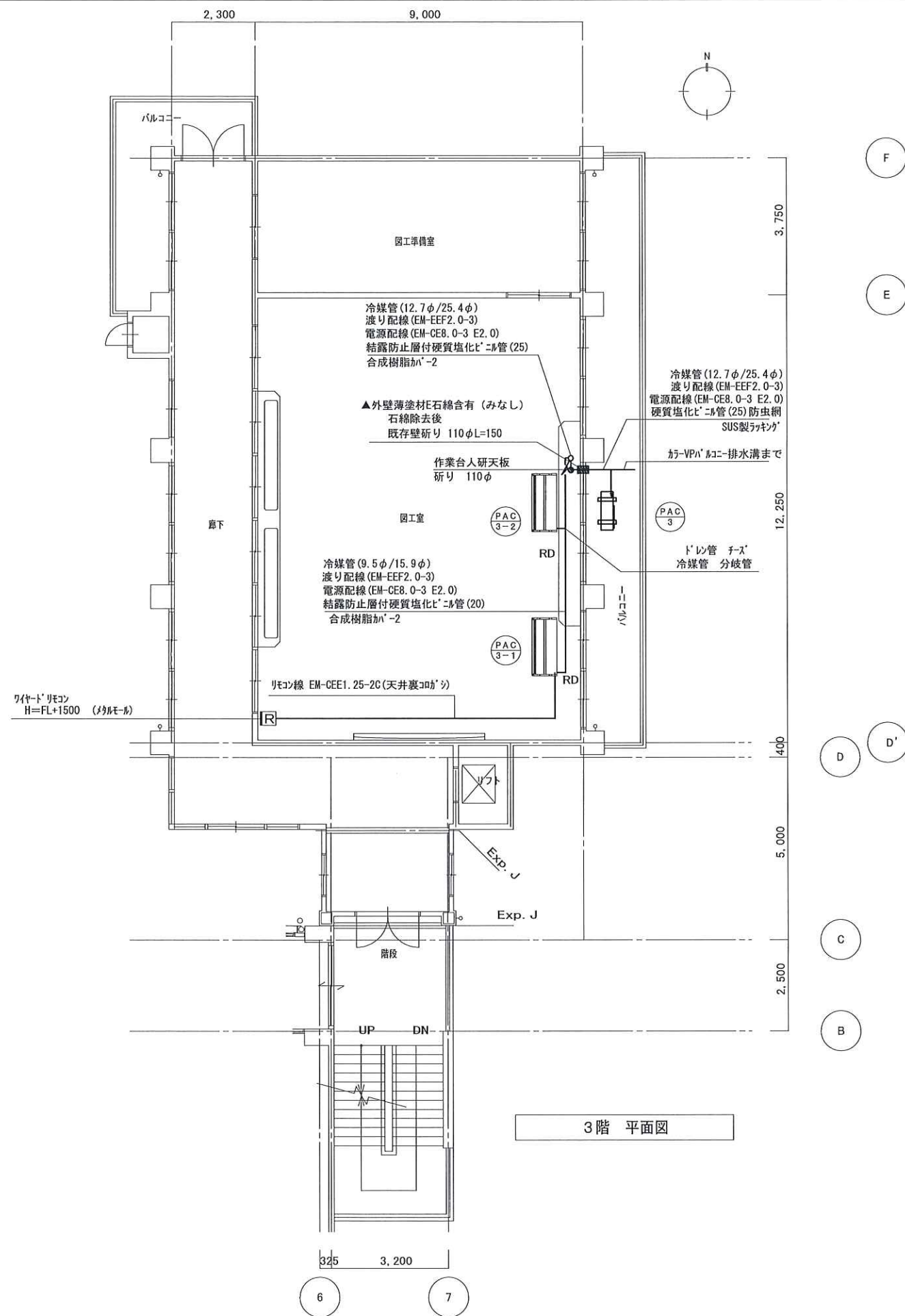
D'

C

B



天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図面名称	縮尺	奈良文庫電気設備株式会社	図番
	2024-11	18棟 空調調和設備 2階平面図	1/100		M-08



図工室 東面立面図

天理市立柳本小学校特別教室空調機設備設置工事	竣工年月日	図面名称	縮尺	奈良文庫電気設備株式会社	図番
	2024-11	18棟 空調と設備 3階平面図	1/100		M-09

